

かすみがうら市総合計画

まちづくりアンケート調査 集計結果報告書

令和3年10月

かすみがうら市

かすみがうら市総合計画 まちづくりアンケート調査 集計結果報告書

目 次

1 調査概要.....	1
(1)調査の目的.....	1
2 市の取組に対する満足度、重要度、暮らしの変化について.....	2
問1-1 居住環境について.....	2
問1-2 産業について.....	4
問1-3 都市基盤について.....	5
問1-4 健康・福祉について.....	7
問1-5 子育て・若者支援について.....	9
問1-6 教育・文化について.....	10
問1-7 協働・行財政について.....	11
問1-1~7 暮らしの変化について.....	13
問1 満足度・重要度からみた優先すべき施策.....	14
3 かすみがうら市の住みやすさについて.....	20
問2 かすみがうら市の住みやすさ.....	20
問3 定住意向.....	20
問4 有効と思う移住定住支援策.....	21
4 あなた自身の幸福感について.....	22
問5 現在の幸福感.....	22
問6 幸福感で重視した項目.....	22
5 市のまちづくりについて.....	24
問7 脱炭素社会の認知度.....	24
問8 脱炭素社会の目標実現への貢献、その理由.....	25
問9 SDGsの認知度.....	26
問10 SDGsで実践していること.....	27
問11 国際化・多文化共生の機会.....	28
問12 国際化・多文化共生への取組.....	28
問13 行政のデジタル化.....	29
問14 ICTで期待するサービス.....	29
6 あなたご自身のことについて.....	31
7 自由記入.....	33

1 調査概要

(1) 調査の目的

「かすみがうら市総合計画」の策定にあたり、市内に在住の市内在住の16歳以上の方2,500人を対象に、まちづくりへの評価や希望などを調査し、計画策定の基礎資料とします。

①調査方法

調査対象者：市内に居住する16歳以上の男女

抽出方法：無作為に抽出

配布・回収方法：郵送配布・郵送回収

調査期間：令和3年6月10日～6月30日

②配布・回収状況

配布数：2,500票

有効回収数：1,104票

回収率：44.16%

③集計について

四捨五入の有効数字の関係で、合計が100%にならない場合があります。

要求回答数を超える等、設問の要求形式の沿わない回答を無効としています。

無回答・無効は合わせて無回答として表示しています。

クロス分析については、特徴が見られる項目を主にコメントしています。

④調査項目

問1 市の取組に対する満足度、重要度、暮らしの変化

問2 かすみがうら市の住みやすさ

問3 かすみがうら市に住み続けたいか

問4 有効と思う移住定住支援策

問5 かすみがうら市民の幸福感

問6 幸福感を判断する上で重視したこと

問7 脱炭素社会の実現を目指す政策についての認知度

問8 脱炭素社会の目標実現への貢献をしたいかどうかと、その理由

問9 SDGsの認知度

問10 SDGs達成に向けて個人で実践していること

問11 外国人の方と身近にかかわる機会

問12 国際化・多文化共生への取組

問13 行政のデジタル化で期待する分野

問14 かすみがうら市のICT（情報通信技術）化で期待するサービス

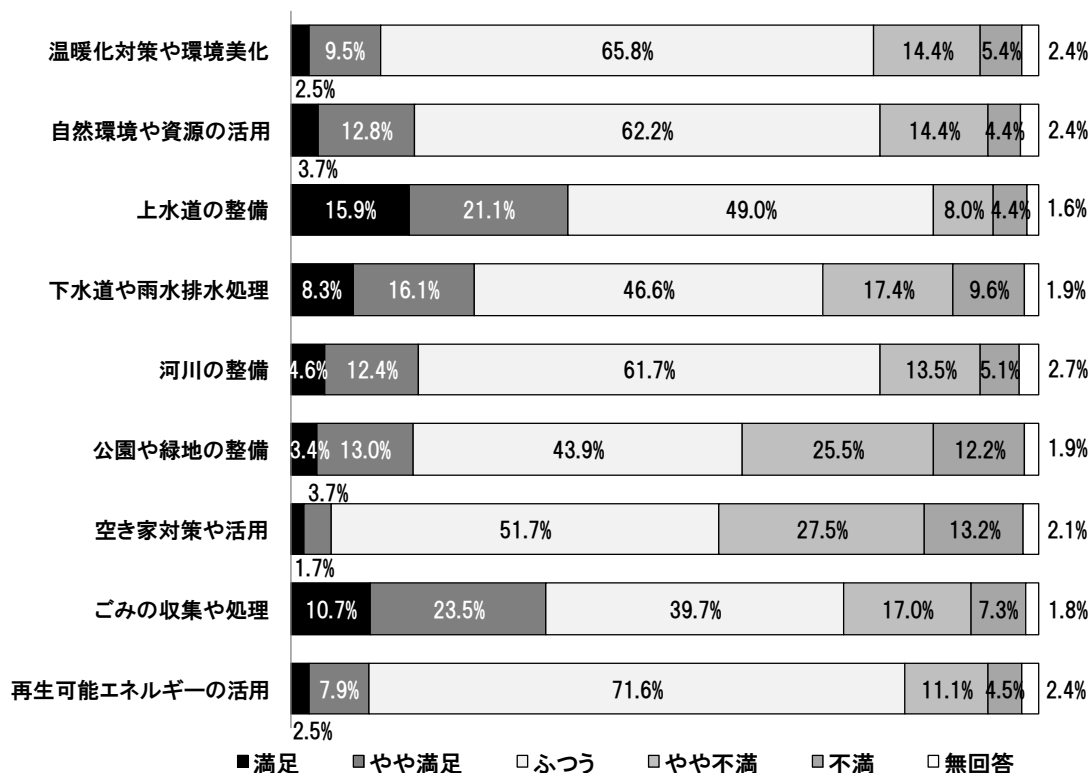
F あなたご自身のことについて

まちづくり全般についてのご意見・ご提案

2 市の取組に対する満足度、重要度、暮らしの変化について

問 1－1 居住環境について

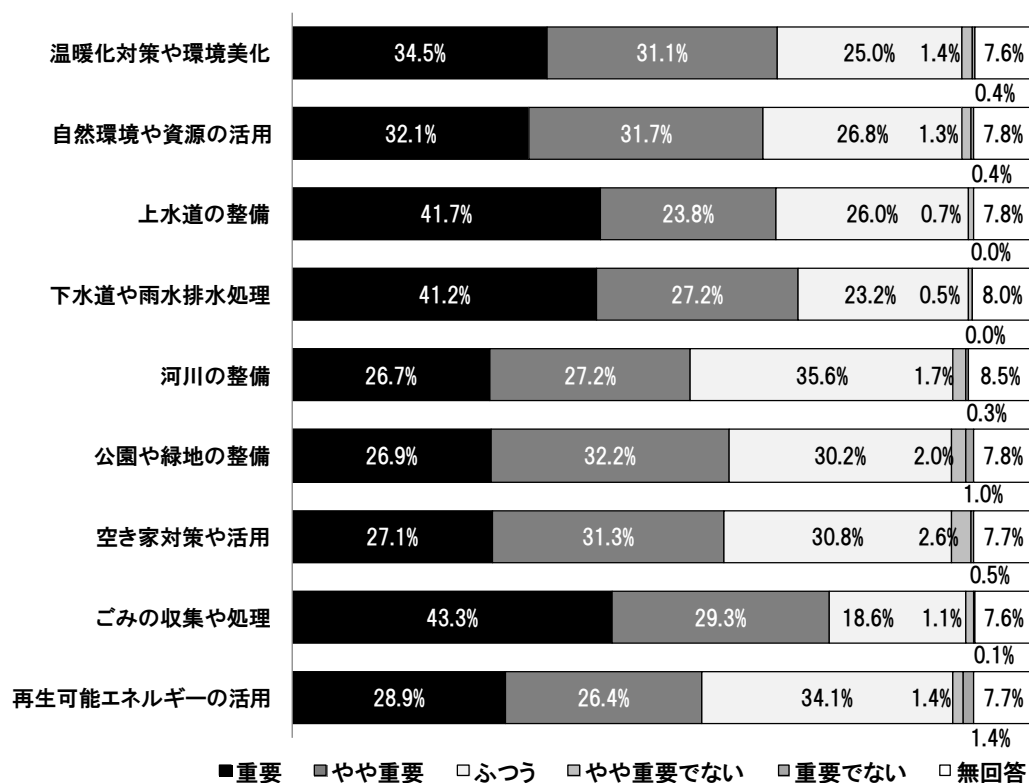
[満足度]



居住環境の満足度では、全般的に「ふつう」との回答が多く見られます。

「満足」と「やや満足」の合計を『満足』、「やや不満」と「不満」の合計を『不満』として比較すると、「上水道の整備」(『満足』37.0%、『不満』12.4%)や「ごみの収集や処理」(『満足』34.2%、『不満』24.3%)などでは比較的満足度が高い一方、その他の項目はいずれも『不満』が『満足』を上回っており、とくに「空き家対策や活用」(『満足』5.4%、『不満』40.7%)や「公園や緑地の整備」(『満足』16.4%、『不満』37.7%)などでは『不満』の割合が高くなっています。

[重要度]

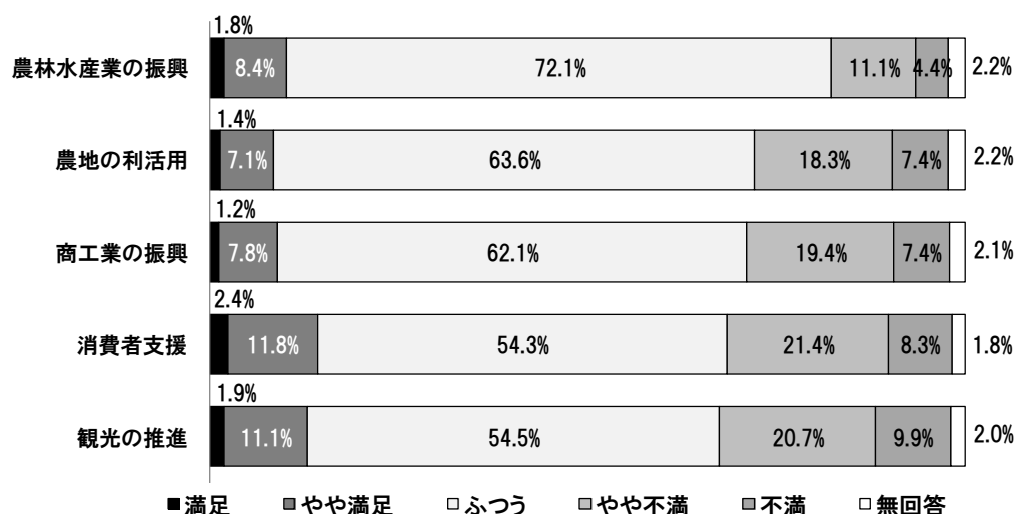


居住環境の重要度では、全般的に「重要」や「やや重要」、「ふつう」のいずれかが多く、「やや重要でない」と「重要でない」の回答はごく少数となっています。

「重要」と「やや重要」の合計を『重要である』、「やや重要でない」と「重要でない」の合計を『重要でない』として比較すると、項目別では、「ごみの収集や処理」（『重要』72.6%、『重要でない』1.2%）や「下水道や雨水排水処理」（『重要』68.4%、『重要でない』0.5%）、「上水道の整備」（『重要』65.5%、『重要でない』0.7%）などでとくに『重要である』の割合が高くなっています。

問 1－2 産業について

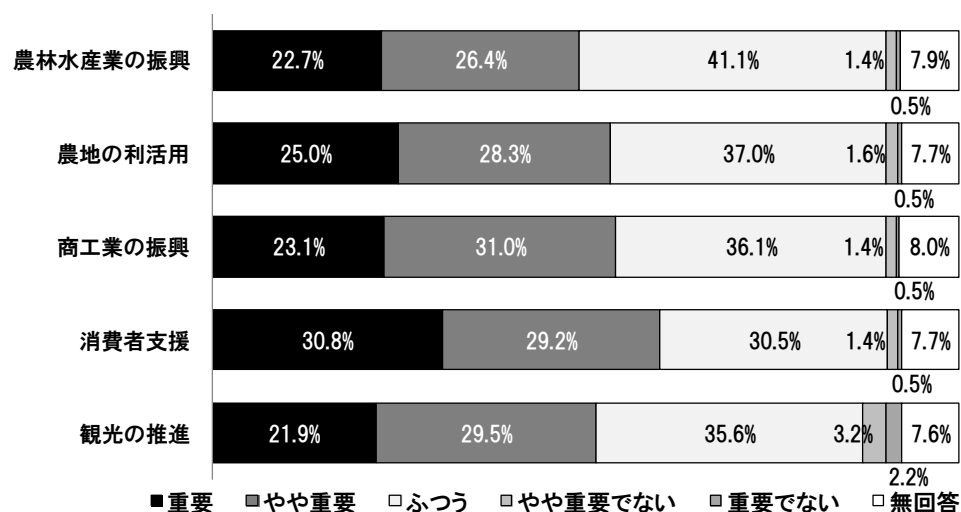
[満足度]



産業についての満足度では、全般的に「ふつう」との回答が多くを占めています。また、いずれの項目も『不満』が『満足』を上回っています。

項目別では「農地の利活用」(『満足』8.5%、『不満』25.7%)や「商工業の振興」(『満足』9.0%、『不満』26.8%)などの『満足』がとくに低く、「観光の推進」(『満足』13.0%、『不満』30.6%)や「消費者支援」(『満足』14.2%、『不満』29.7%)などの『不満』がとくに高くなっています。

[重要度]

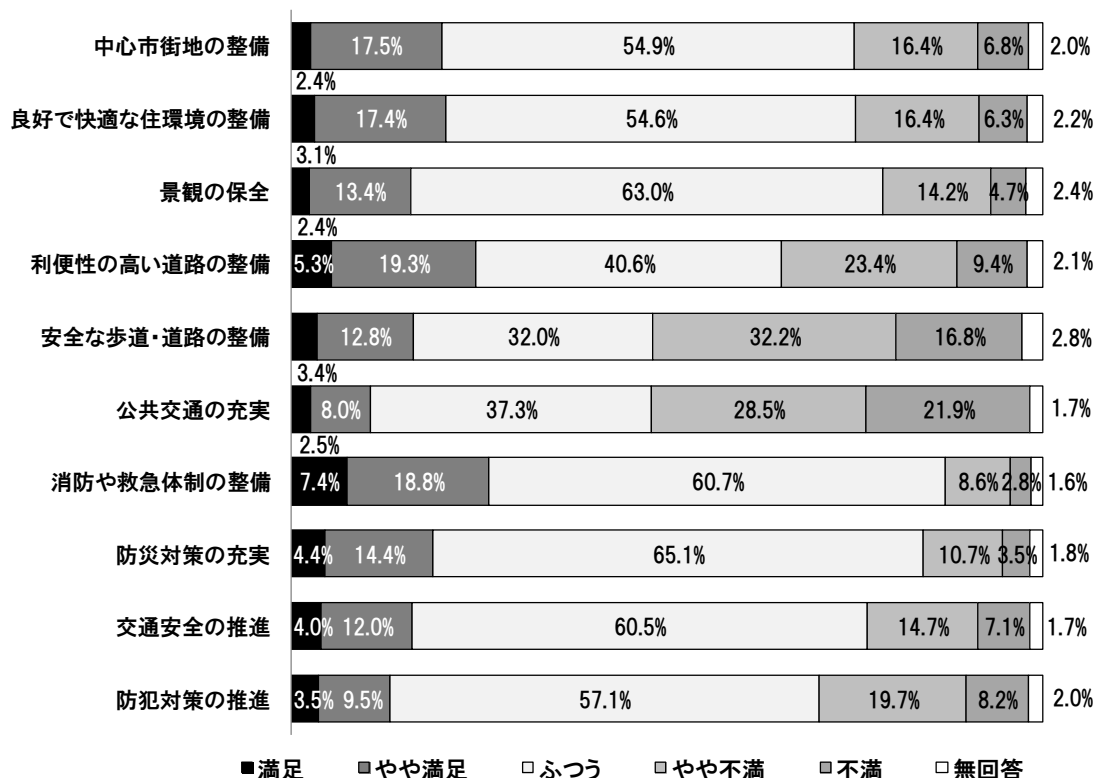


産業についての重要度では、全般的に「ふつう」の割合が多く、次いで「やや重要」または「重要」が多くなっています。「やや重要でない」と「重要でない」の回答はごく少数となっています。

項目別では、「消費者支援」(『重要』60.0%、『重要でない』1.9%)の重要度が最も高く、次いで「商工業の振興」(『重要』54.1%、『重要でない』1.9%)、「農地の利活用」(『重要』53.3%、『重要でない』2.1%)などとなっています。

問 1－3 都市基盤について

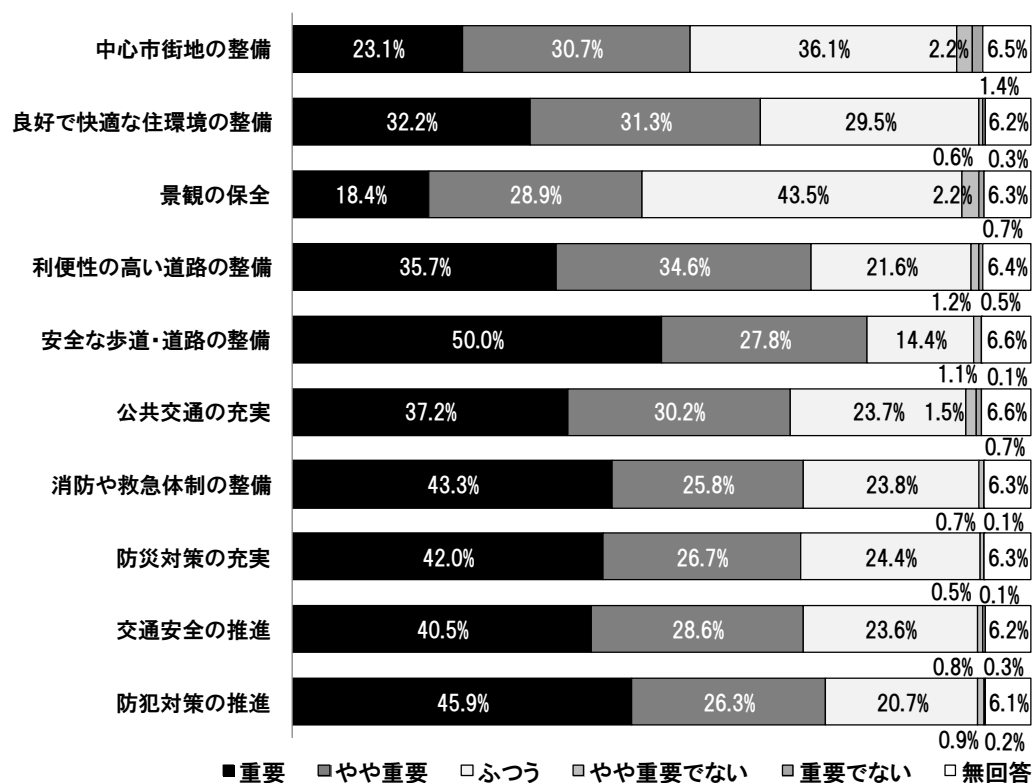
[満足度]



都市基盤の満足度では、全般的に「ふつう」との回答が多く見られます。

項目別では、「消防や救急体制の整備」（『満足』26.2%、『不満』11.4%）や「防災対策の充実」（『満足』18.8%、『不満』14.2%）などでは比較的満足度が高い一方、その他の項目はいずれも『不満』が『満足』を上回っており、とくに「公共交通の充実」（『満足』10.5%、『不満』50.4%）や「安全な歩道・道路の整備」（『満足』16.2%、『不満』49.0%）などでは『不満』の割合が約5割を占めています。

[重要度]

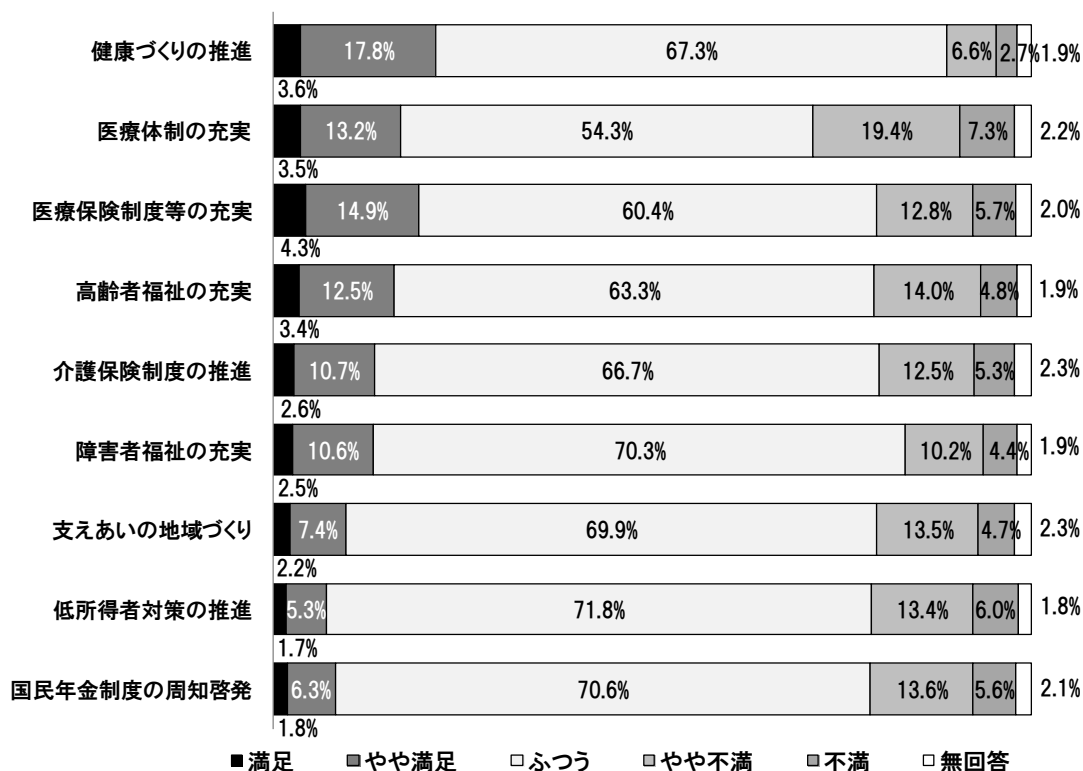


都市基盤の重要度では、全般的に「重要」や「やや重要」、「ふつう」のいずれかが多く、「やや重要でない」と「重要でない」の回答はごく少数となっています。

項目別では、「安全な歩道・道路の整備」（『重要』77.8%、『重要でない』1.2%）の重要度が最も高く、次いで「防犯対策の推進」（『重要』72.2%、『重要でない』1.1%）、「利便性の高い道路の整備」（『重要』70.3%、『重要でない』1.7%）などとなっています。

問 1－4 健康・福祉について

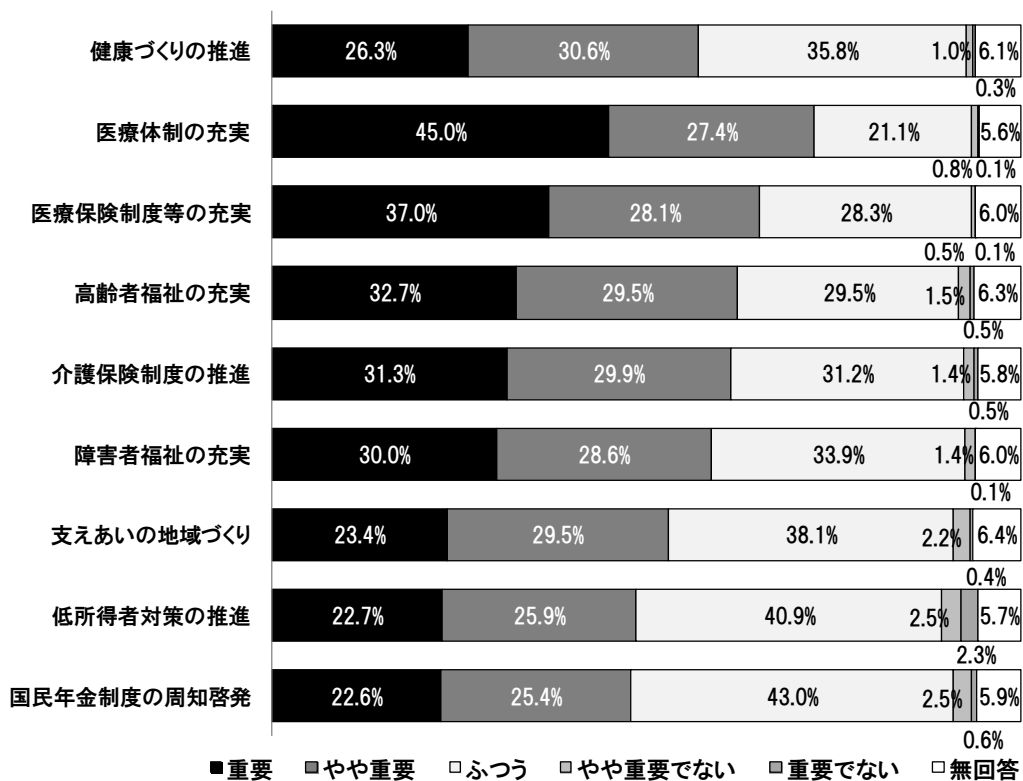
[満足度]



健康・福祉の満足度では、全般的に「ふつう」との回答が多く見られます。

項目別では、「健康づくりの推進」（『満足』21.4%、『不満』9.3%）や「医療保険制度等の充実」（『満足』19.2%、『不満』18.5%）などでは比較的満足度が高い一方、その他の項目はいずれも『不満』が『満足』を上回っており、とくに「医療体制の充実」（『満足』16.7%、『不満』26.7%）や「低所得者対策の推進」（『満足』7%、『不満』19.4%）、「国民年金制度の周知啓発」（『満足』8.1%、『不満』19.2%）などでは『不満』の割合が高くなっています。

[重要度]

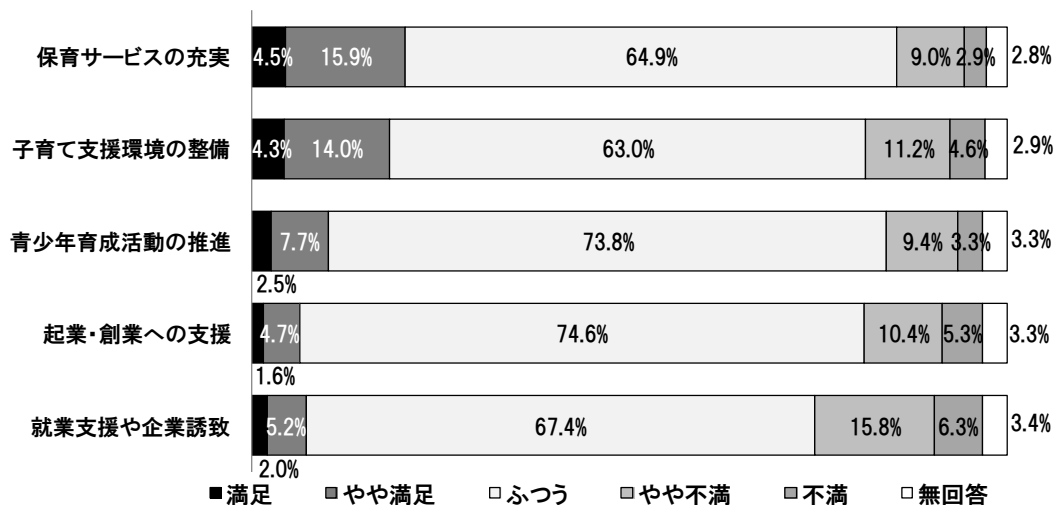


健康・福祉の重要度では、全般的に「重要」や「やや重要」、「ふつう」のいずれかが多く、「やや重要でない」と「重要でない」の回答は少数となっています。

項目別では、「医療体制の充実」（『重要』72.4%、『重要でない』0.9%）の重要度が最も高く、次いで「医療保険制度等の充実」（『重要』65.1%、『重要でない』0.6%）、「高齢者福祉の充実」（『重要』62.2%、『重要でない』2.0%）などとなっています。

問 1－5 子育て・若者支援について

[満足度]

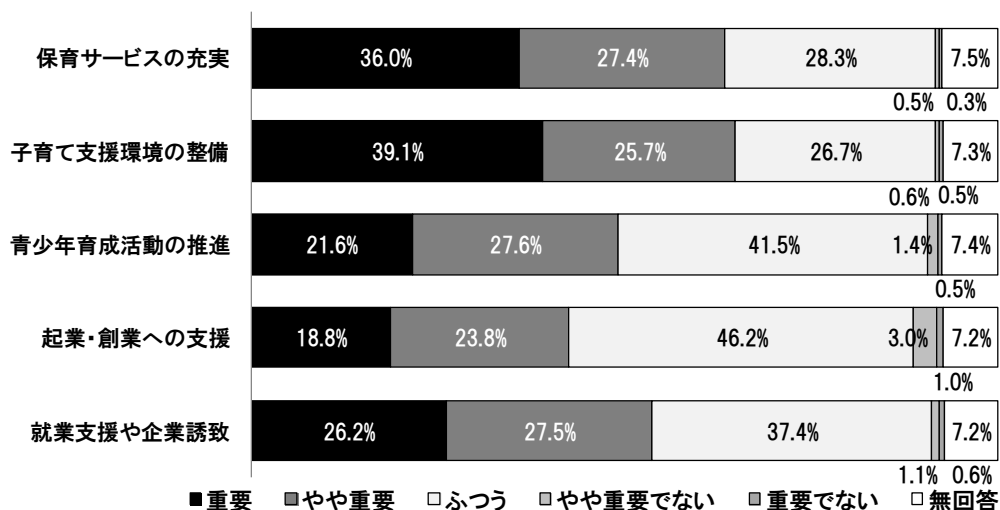


子育て・若者支援の満足度では、全般的に「ふつう」との回答が多くなっています。

最も満足度が高い項目は「保育サービスの充実」で、不満度が高い項目は「就業支援や企業誘致」となっています。

項目別では、「保育サービスの充実」(『満足』20.4%、『不満』11.9%)や「子育て支援環境の整備」(『満足』18.3%、『不満』15.8%)などでは比較的満足度が高い一方、その他の項目は『不満』が『満足』を上回っており、とくに「就業支援や企業誘致」(『満足』7.2%、『不満』22.1%)では『不満』の割合が高くなっています。

[重要度]

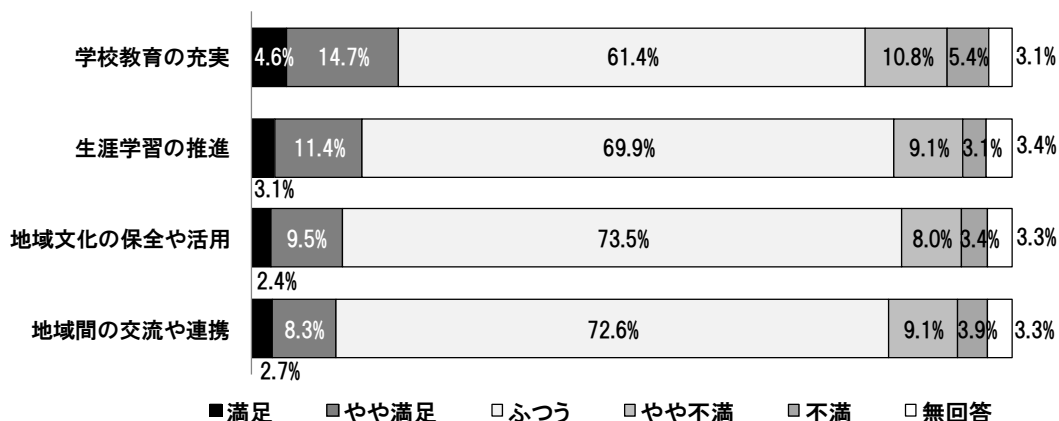


子育て・若者支援の重要度では、全般的に「重要」や「やや重要」、「ふつう」のいずれかが多く、「やや重要でない」と「重要でない」の回答はごく少数となっています。

項目別では、「子育て支援環境の整備」(『重要』64.8%、『重要でない』1.1%)の重要度が最も高く、次いで「保育サービスの充実」(『重要』63.4%、『重要でない』0.8%)、「就業支援や企業誘致」(『重要』53.7%、『重要でない』1.7%)などとなっています。

問 1－6 教育・文化について

[満足度]

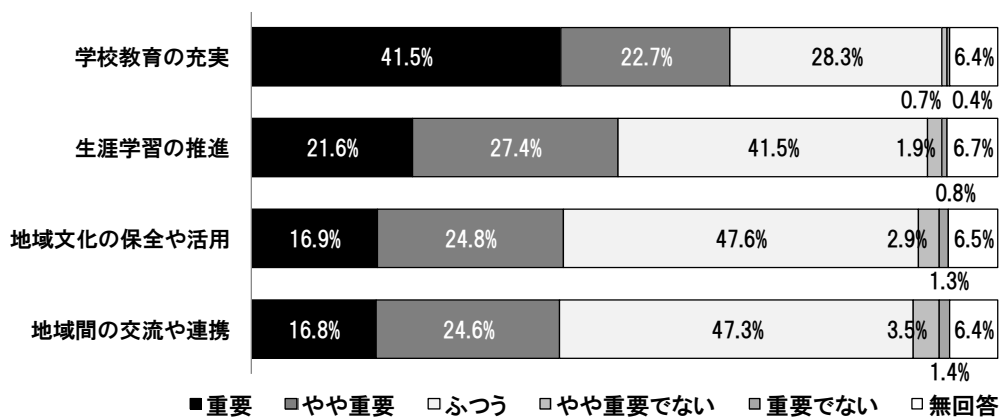


教育・文化の満足度では、全般的に「ふつう」との回答が多くなっています。

項目別では、「学校教育の充実」（『満足』19.3%、『不満』16.2%）の『不満』の割合が他より多いものの、『満足』の割合も高く、『不満』をわずかに上回っています。

その他では、「生涯学習の推進」（『満足』14.5%、『不満』12.2%）や「地域文化の保全や活用」（『満足』11.9%、『不満』11.4%）でも『満足』がやや多くなっていますが、「地域間の交流や連携」（『満足』11.0%、『不満』13.0%）では、『不満』が『満足』を上回っています。

[重要度]

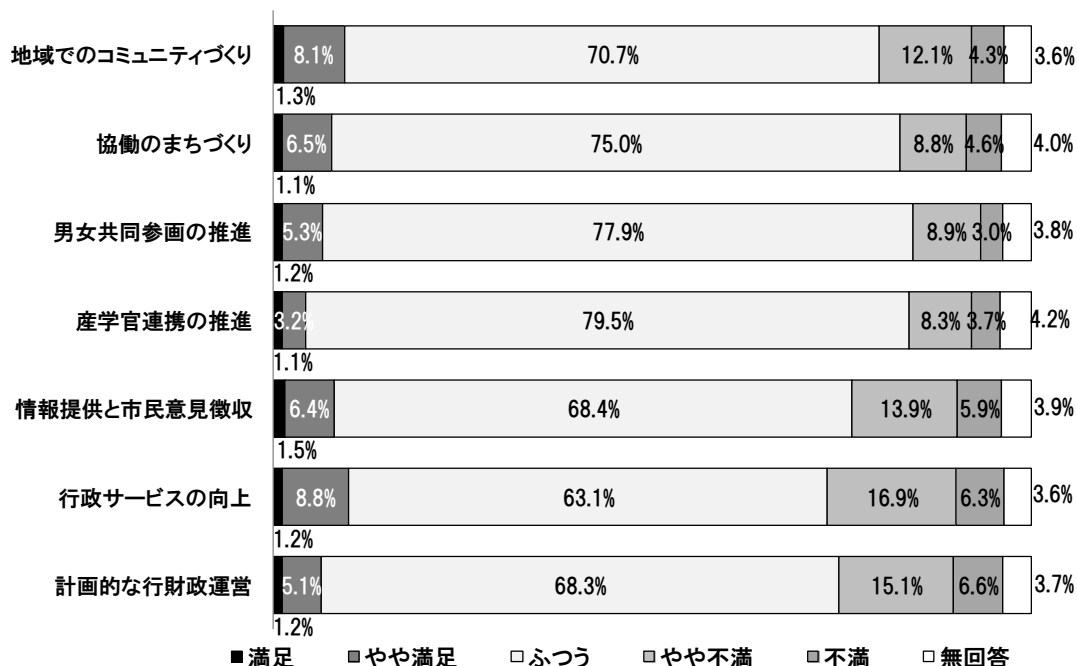


教育・文化の重要度では、全般的に「重要」や「やや重要」、「ふつう」のいずれかが多く、「やや重要でない」と「重要でない」の回答はごく少数となっています。

項目別では、「学校教育の充実」（『重要』64.2%、『重要でない』1.1%）の重要度が最も高く、次いで「生涯学習の推進」（『重要』49.0%、『重要でない』2.7%）、「地域文化の保全や活用」（『重要』41.7%、『重要でない』4.2%）などとなっています。

問 1－7 協働・行財政について

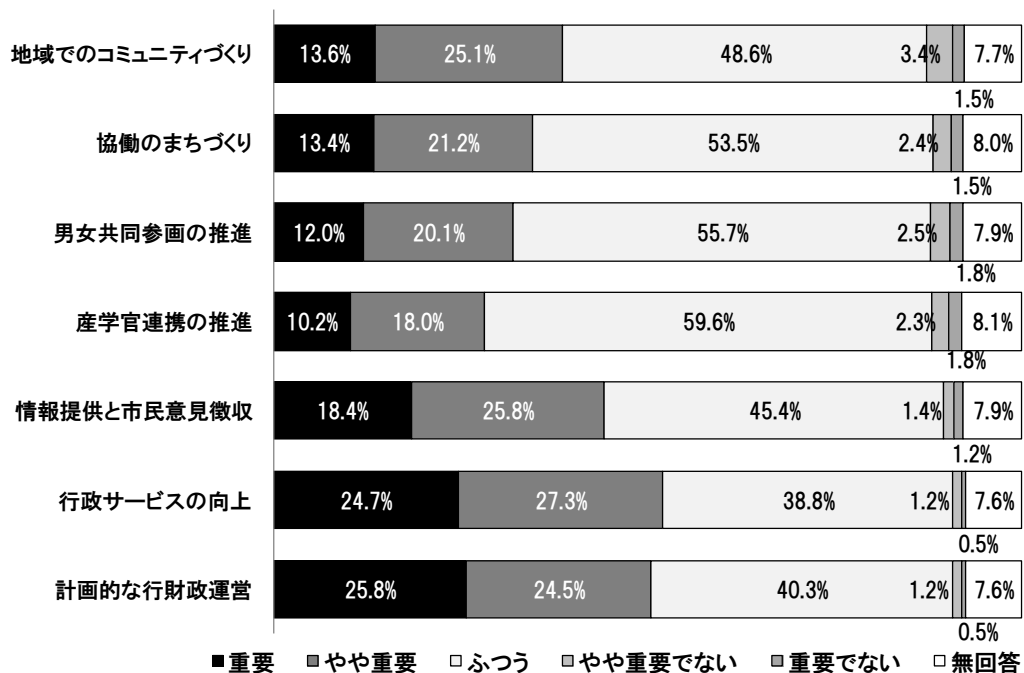
[満足度]



協働・行財政の満足度では、全般的に「ふつう」との回答が多くなっています。

項目別では、いずれの項目も『不満』が『満足』を上回っており、とくに「行政サービスの向上」（『満足』10.0%、『不満』23.2%）や「計画的な行財政運営」（『満足』6.3%、『不満』21.7%）、「情報提供と市民意見徴収」（『満足』7.9%、『不満』19.8%）などの『不満』の割合が高くなっています。

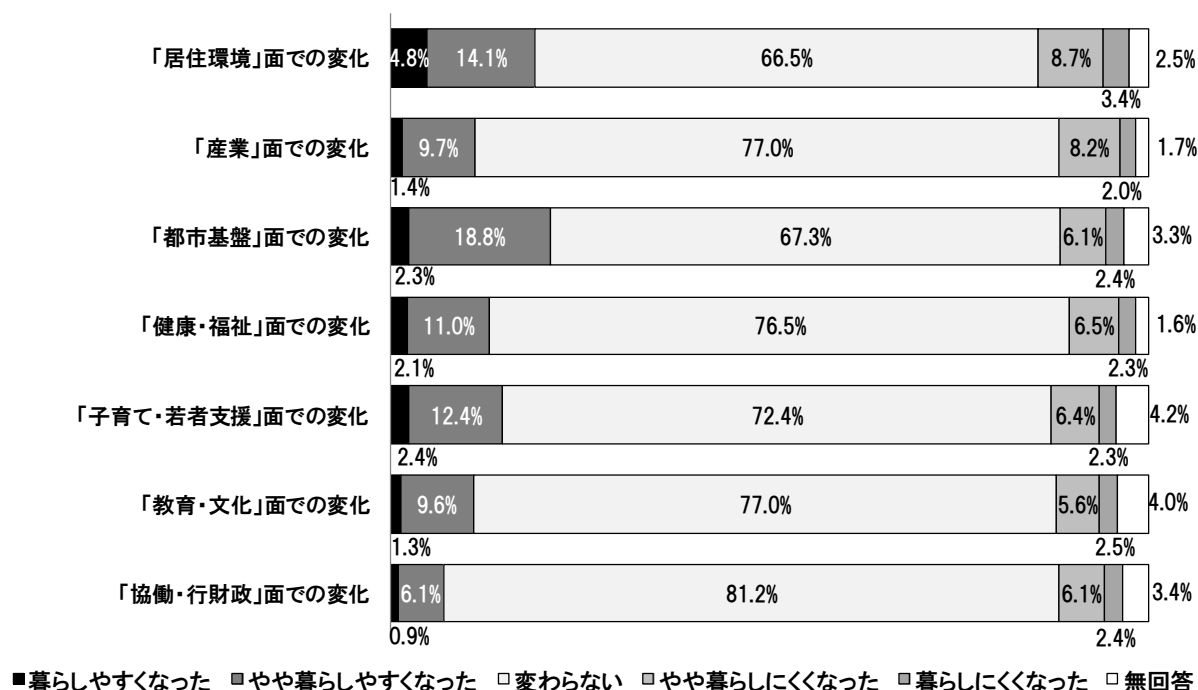
[重要度]



協働・行財政の重要度では、全般的に「ふつう」の割合が多く、次いで「やや重要」または「重要」が多くなっています。「やや重要でない」と「重要でない」の回答は少数となっています。

項目別では、「行政サービスの向上」（『重要』52.0%、『重要でない』1.7%）の重要度が最も高く、次いで「計画的な行財政運営」（『重要』50.3%、『重要でない』1.7%）、「情報提供と市民意見徴収」（『重要』44.2%、『重要でない』2.6%）などとなっています。

問 1－1～7 暮らしの変化について



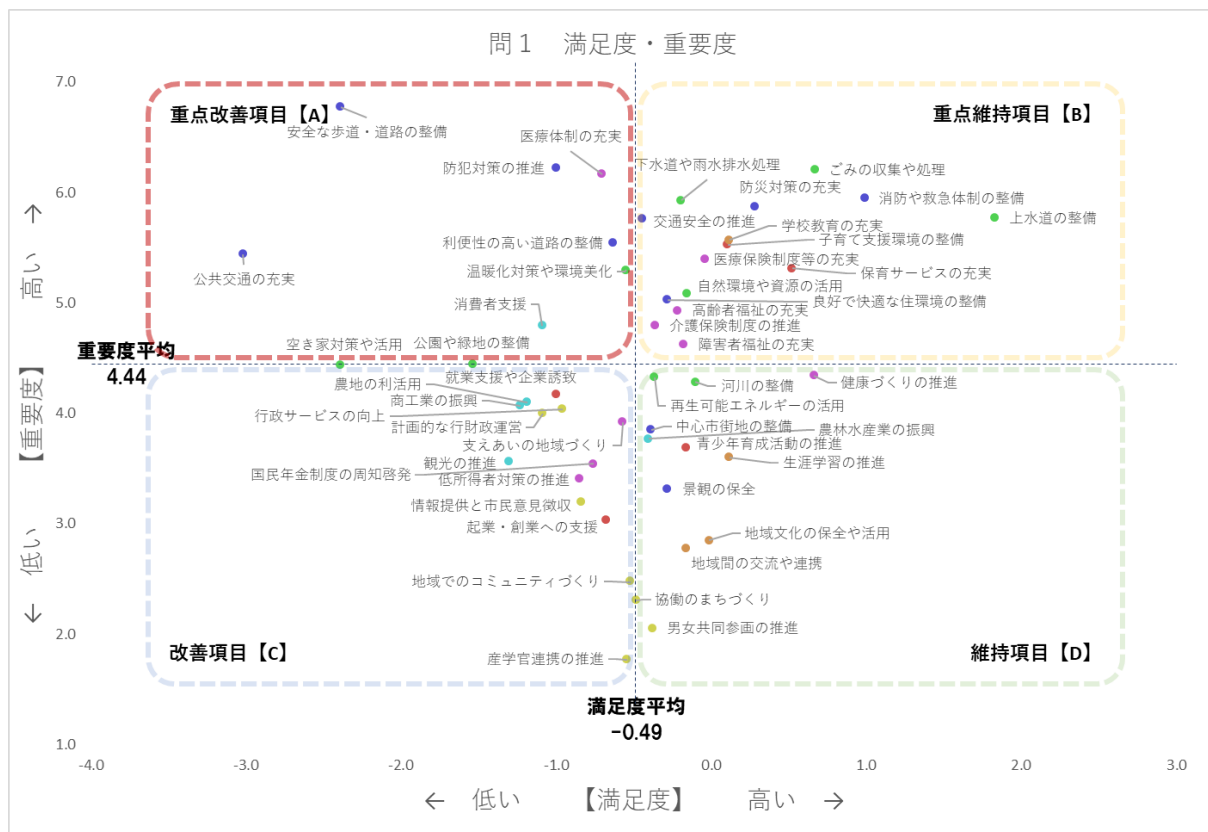
柱ごとの取組による5年間の暮らしの変化については、いずれも「変わらない」が最も多く、次いで「やや暮らしやすくなった」が多くなっています。

「暮らしやすくなった」と「やや暮らしやすくなった」の合計を『暮らしやすくなった』、「やや暮らしにくくなった」と「暮らしにくくなった」の合計を『暮らしにくくなった』として比較すると、『暮らしやすくなった』との回答は「都市基盤」(21.1%)で最も多く、次いで「居住環境」(18.9%)、「子育て・若者支援」(14.8%)などとなっています。一方、『暮らしにくくなった』は「居住環境」(12.1%)で最も多く、次いで「産業」(10.2%)、「健康・福祉」(8.8%)などとなっています。

「協働・行財政」では、『暮らしにくくなった』(8.5%)が『暮らしやすくなった』(7.0%)を上回っていますが、その他の柱ではいずれも『暮らしやすくなった』の方がわずかに多くなっています。

問1 満足度・重要度からみた優先すべき施策

①回答者全体の傾向



満足度と重要度をそれぞれ10点から-10点の重みをつけた加重得点により、49項目をグラフに落とし込んだところ、重要度が高く満足度が低い『重点的に改善すべき項目』は、「安全な歩道・道路の整備」、「公共交通の充実」、「防犯対策の推進」、「医療体制の充実」、「利便性の高い道路の整備」、「消費者支援」、「温暖化対策や環境美化」、「空き家対策や活用」、「公園や緑地の整備」などとなっています。

重点改善項目【A】	重要度が高いのに満足度が低い項目。総合満足度を上げるために最優先で改善しなければならない項目。
重点維持項目【B】	重要度も満足度も高い項目。現時点での満足度の源泉と考えられ、引き続き満足度を下がないようにする必要がある。
改善項目【C】	重要度も満足度も低い項目。重点改善項目の次に改善を必要とする項目。
維持項目【D】	満足度は高いが、重要度は低い項目。当面は現状を維持すればよい項目。

②居住地区別、年齢別の傾向

地区別に見た『重点改善項目』は、霞ヶ浦中学校区では「公共交通の充実」、「安全な歩道・道路の整備」、「空き家対策や活用」、「医療体制の充実」、「防犯対策の推進」などとなっています。

千代田中学校区では、「安全な歩道・道路の整備」、「防犯対策の推進」、「公共交通の充実」、「交通安全の推進」、「公園や緑地の整備」などとなっています。

下稲吉中学校区では、「安全な歩道・道路の整備」、「公共交通の充実」、「医療体制の充実」、「空き家対策や活用」、「防犯対策の推進」などとなっています。

年齢別に見た『重点改善項目』は、10代では「安全な歩道・道路の整備」、「公共交通の充実」、「観光の推進」、「空き家対策や活用」などとなっています。

20代では、「安全な歩道・道路の整備」、「公共交通の充実」、「消費者支援」、「公園や緑地の整備」などとなっています。

30代では、「安全な歩道・道路の整備」、「防犯対策の推進」、「公園や緑地の整備」、「交通安全の推進」、「医療体制の充実」などとなっています。

40代では、「安全な歩道・道路の整備」、「公共交通の充実」、「防犯対策の推進」、「医療体制の充実」、「交通安全の推進」などとなっています。

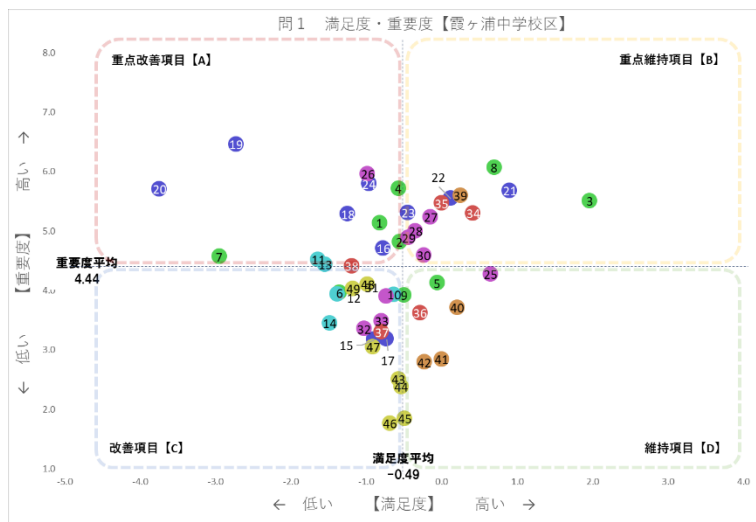
50代では、「公共交通の充実」、「安全な歩道・道路の整備」、「空き家対策や活用」、「医療体制の充実」、「防犯対策の推進」などとなっています。

60代では、「公共交通の充実」、「安全な歩道・道路の整備」、「医療体制の充実」、「防犯対策の推進」、「利便性の高い道路の整備」などとなっています。

70代以上では、「公共交通の充実」、「安全な歩道・道路の整備」、「農地の利活用」、「農林水産業の振興」、「利便性の高い道路の整備」などとなっています。

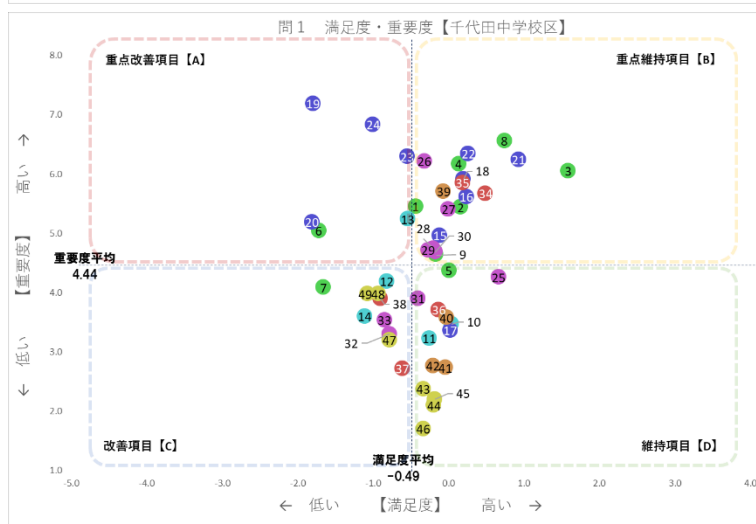
次ページ以降に居住地区別及び年齢別の集計結果と、それぞれの重点改善項目を示します。

【居住地区別】



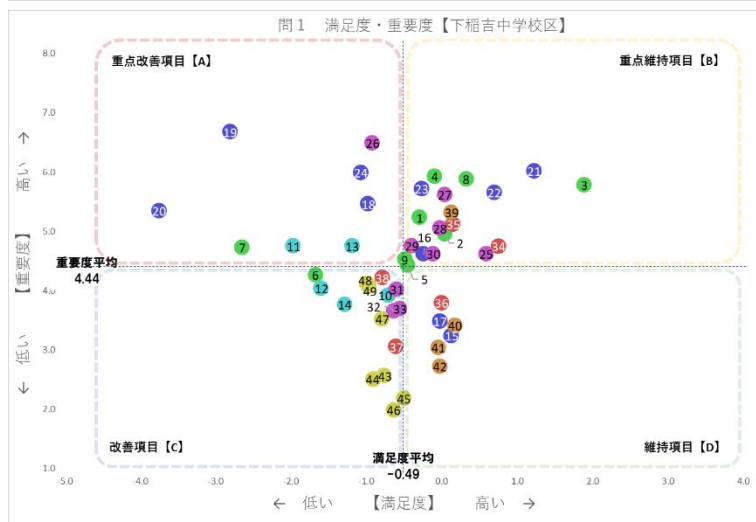
霞ヶ浦中学校区 重点改善項目のみ抜粋

- 1 温暖化対策や環境美化
- 2 自然環境や資源の活用
- 4 下水道や雨水排水処理
- 7 空き家対策や活用
- 11 農地の利活用
- 16 良好で快適な住環境の整備
- 18 利便性の高い道路の整備
- 19 安全な歩道・道路の整備
- 20 公共交通の充実
- 24 防犯対策の推進
- 26 医療体制の充実



千代田中学校区 重点改善項目のみ抜粋

- 6 公園や緑地の整備
- 13 消費者支援
- 19 安全な歩道・道路の整備
- 20 公共交通の充実
- 23 交通安全の推進
- 24 防犯対策の推進



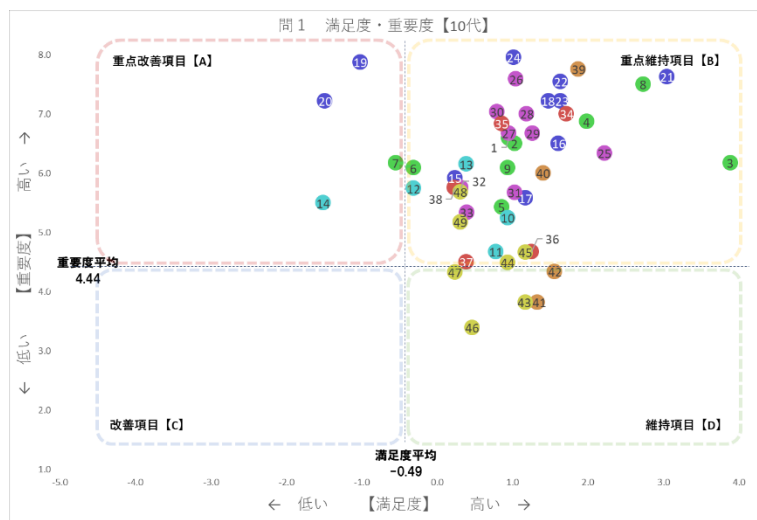
下稲吉中学校区 重点改善項目のみ抜粋

- 7 空き家対策や活用
- 11 農地の利活用
- 13 消費者支援
- 18 利便性の高い道路の整備
- 19 安全な歩道・道路の整備
- 20 公共交通の充実
- 24 防犯対策の推進
- 26 医療体制の充実

グラフ中の数字は以下の項目を示す

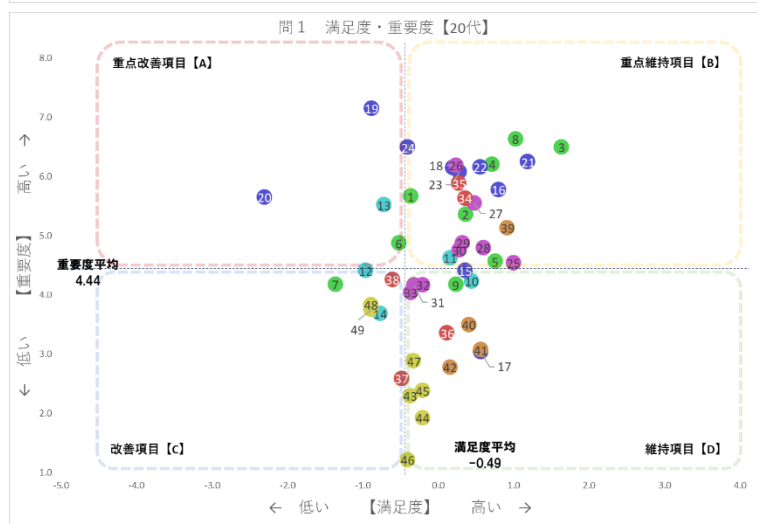
1 温暖化対策や環境美化	11 農地の利活用	21 消防や救急体制の整備	31 支えあいの地域づくり	41 地域文化の保全や活用
2 自然環境や資源の活用	12 商工業の振興	22 防災対策の充実	32 低所得者対策の推進	42 地域間の交流や連携
3 上水道の整備	13 消費者支援	23 交通安全の推進	33 国民年金制度の周知啓発	43 地域でのコミュニティづくり
4 下水道や雨水排水処理	14 観光の推進	24 防犯対策の推進	34 保育サービスの充実	44 協働のまちづくり
5 河川の整備	15 中心市街地の整備	25 健康づくりの推進	35 子育て支援環境の整備	45 男女共同参画の推進
6 公園や緑地の整備	16 良好で快適な住環境の整備	26 医療体制の充実	36 青少年育成活動の推進	46 産学官連携の推進
7 空き家対策や活用	17 景観の保全	27 医療保険制度等の充実	37 起業・創業への支援	47 情報提供と市民意見徴収
8 ごみの収集や処理	18 利便性の高い道路の整備	28 高齢者福祉の充実	38 就業支援や企業誘致	48 行政サービスの向上
9 再生可能エネルギーの活用	19 安全な歩道・道路の整備	29 介護保険制度の推進	39 学校教育の充実	49 計画的な行財政運営
10 農林水産業の振興	20 公共交通の充実	30 障害者福祉の充実	40 生涯学習の推進	

【年齢別】



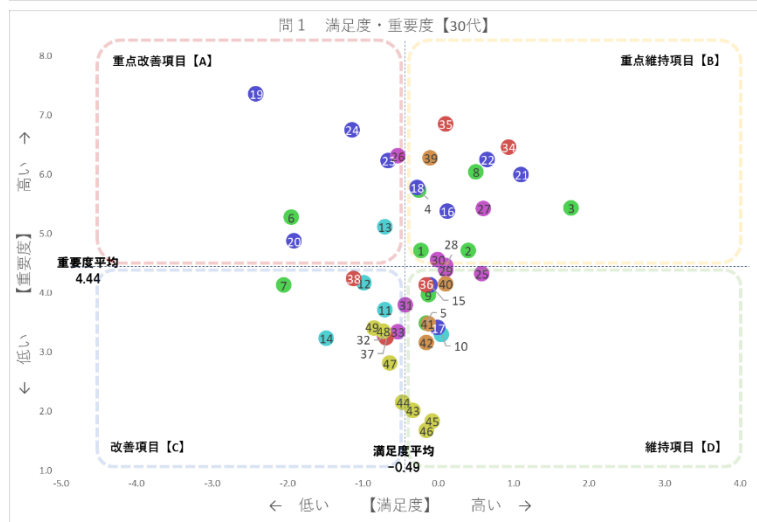
10代 重点改善項目のみ抜粋

- 7 空き家対策や活用
- 14 観光の推進
- 19 安全な歩道・道路の整備
- 20 公共交通の充実



20代 重点改善項目のみ抜粋

- 6 公園や緑地の整備
- 13 消費者支援
- 19 安全な歩道・道路の整備
- 20 公共交通の充実

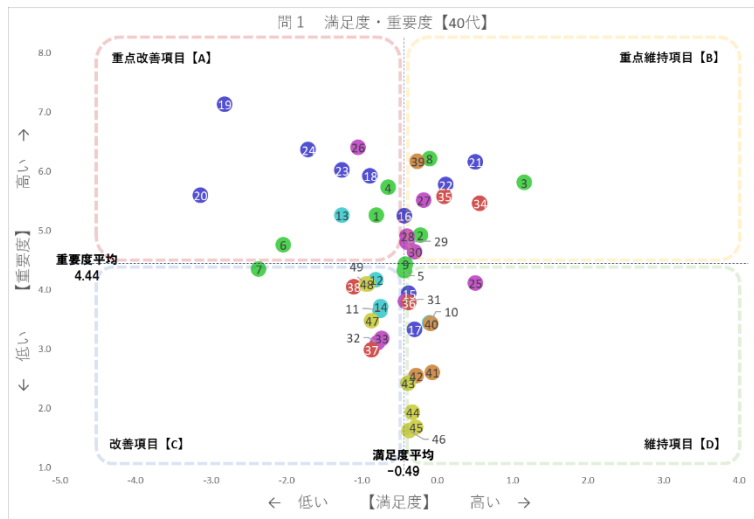


30代 重点改善項目のみ抜粋

- 6 公園や緑地の整備
- 13 消費者支援
- 19 安全な歩道・道路の整備
- 20 公共交通の充実
- 23 交通安全の推進
- 24 防犯対策の推進
- 26 医療体制の充実

グラフ中の数字は以下の項目を示す

1 温暖化対策や環境美化	11 農地の利活用	21 消防や救急体制の整備	31 支えあいの地域づくり	41 地域文化の保全や活用
2 自然環境や資源の活用	12 商工業の振興	22 防災対策の充実	32 低所得者対策の推進	42 地域間の交流や連携
3 上水道の整備	13 消費者支援	23 交通安全の推進	33 国民年金制度の周知啓発	43 地域でのコミュニティづくり
4 下水道や雨水排水処理	14 観光の推進	24 防犯対策の推進	34 保育サービスの充実	44 協働のまちづくり
5 河川の整備	15 中心市街地の整備	25 健康づくりの推進	35 子育て支援環境の整備	45 男女共同参画の推進
6 公園や緑地の整備	16 良好で快適な住環境の整備	26 医療体制の充実	36 青少年育成活動の推進	46 産学官連携の推進
7 空き家対策や活用	17 景観の保全	27 医療保険制度等の充実	37 起業・創業への支援	47 情報提供と市民意見徴収
8 ごみの収集や処理	18 利便性の高い道路の整備	28 高齢者福祉の充実	38 就業支援や企業誘致	48 行政サービスの向上
9 再生可能エネルギーの活用	19 安全な歩道・道路の整備	29 介護保険制度の推進	39 学校教育の充実	49 計画的な行財政運営
10 農林水産業の振興	20 公共交通の充実	30 障害者福祉の充実	40 生涯学習の推進	



40代 重点改善項目のみ抜粋

- 1 温暖化対策や環境美化
- 4 下水道や雨水排水処理
- 6 公園や緑地の整備
- 13 消費者支援
- 18 利便性の高い道路の整備
- 19 安全な歩道・道路の整備
- 20 公共交通の充実
- 23 交通安全の推進
- 24 防犯対策の推進
- 26 医療体制の充実

50代 重点改善項目のみ抜粋

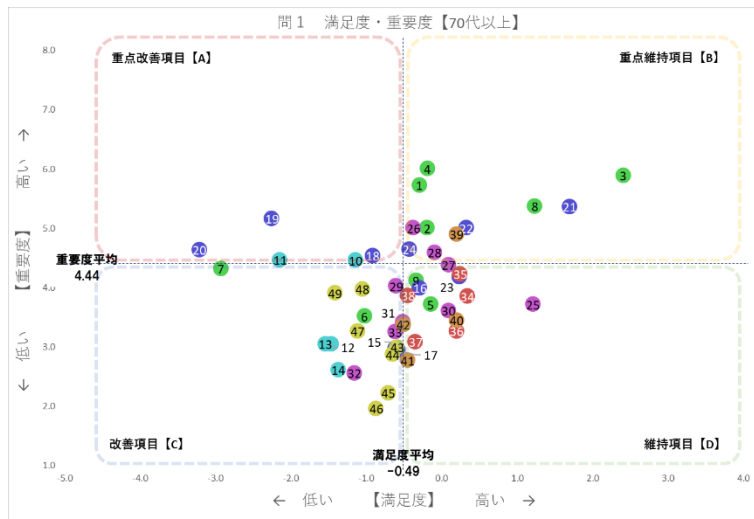
- 1 温暖化対策や環境美化
- 2 自然環境や資源の活用
- 4 下水道や雨水排水処理
- 7 空き家対策や活用
- 13 消費者支援
- 16 良好で快適な住環境の整備
- 18 利便性の高い道路の整備
- 19 安全な歩道・道路の整備
- 20 公共交通の充実
- 23 交通安全の推進
- 24 防犯対策の推進
- 26 医療体制の充実
- 27 医療保険制度等の充実
- 28 高齢者福祉の充実
- 29 介護保険制度の推進
- 30 障害者福祉の充実

60代 重点改善項目のみ抜粋

- 1 温暖化対策や環境美化
- 2 自然環境や資源の活用
- 4 下水道や雨水排水処理
- 5 河川の整備
- 18 利便性の高い道路の整備
- 19 安全な歩道・道路の整備
- 20 公共交通の充実
- 23 交通安全の推進
- 24 防犯対策の推進
- 26 医療体制の充実
- 27 医療保険制度等の充実
- 28 高齢者福祉の充実
- 29 介護保険制度の推進
- 30 障害者福祉の充実
- 49 計画的な行財政運営

グラフ中の数字は以下の項目を示す

1 温暖化対策や環境美化	11 農地の利活用	21 消防や救急体制の整備	31 支えあいの地域づくり	41 地域文化の保全や活用
2 自然環境や資源の活用	12 商工業の振興	22 防災対策の充実	32 低所得者対策の推進	42 地域間の交流や連携
3 上水道の整備	13 消費者支援	23 交通安全の推進	33 国民年金制度の周知啓発	43 地域でのコミュニティづくり
4 下水道や雨水排水処理	14 観光の推進	24 防犯対策の推進	34 保育サービスの充実	44 協働のまちづくり
5 河川の整備	15 中心市街地の整備	25 健康づくりの推進	35 子育て支援環境の整備	45 男女共同参画の推進
6 公園や緑地の整備	16 良好で快適な住環境の整備	26 医療体制の充実	36 青少年育成活動の推進	46 産学官連携の推進
7 空き家対策や活用	17 景観の保全	27 医療保険制度等の充実	37 起業・創業への支援	47 情報提供と市民意見徴収
8 ごみの収集や処理	18 利便性の高い道路の整備	28 高齢者福祉の充実	38 就業支援や企業誘致	48 行政サービスの向上
9 再生可能エネルギーの活用	19 安全な歩道・道路の整備	29 介護保険制度の推進	39 学校教育の充実	49 計画的な行財政運営
10 農林水産業の振興	20 公共交通の充実	30 障害者福祉の充実	40 生涯学習の推進	



70代以上 重点改善項目のみ抜粋

- 10 農林水産業の振興
- 11 農地の利活用
- 18 利便性の高い道路の整備
- 19 安全な歩道・道路の整備
- 20 公共交通の充実

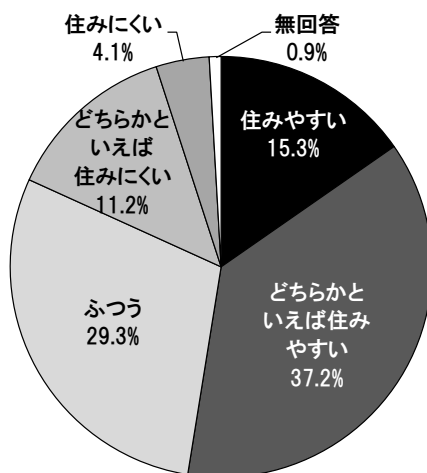
グラフ中の数字は以下の項目を示す

1 温暖化対策や環境美化	11 農地の利活用	21 消防や救急体制の整備	31 支えあいの地域づくり	41 地域文化の保全や活用
2 自然環境や資源の活用	12 商工業の振興	22 防災対策の充実	32 低所得者対策の推進	42 地域間の交流や連携
3 上水道の整備	13 消費者支援	23 交通安全の推進	33 国民年金制度の周知啓発	43 地域でのコミュニティづくり
4 下水道や雨水排水処理	14 観光の推進	24 防犯対策の推進	34 保育サービスの充実	44 協働のまちづくり
5 河川の整備	15 中心市街地の整備	25 健康づくりの推進	35 子育て支援環境の整備	45 男女共同参画の推進
6 公園や緑地の整備	16 良好で快適な住環境の整備	26 医療体制の充実	36 青少年育成活動の推進	46 産学官連携の推進
7 空き家対策や活用	17 景観の保全	27 医療保険制度等の充実	37 起業・創業への支援	47 情報提供と市民意見徴収
8 ごみの収集や処理	18 利便性の高い道路の整備	28 高齢者福祉の充実	38 就業支援や企業誘致	48 行政サービスの向上
9 再生可能エネルギーの活用	19 安全な歩道・道路の整備	29 介護保険制度の推進	39 学校教育の充実	49 計画的な行財政運営
10 農林水産業の振興	20 公共交通の充実	30 障害者福祉の充実	40 生涯学習の推進	

3 かすみがうら市の住みやすさについて

問2 かすみがうら市の住みやすさ

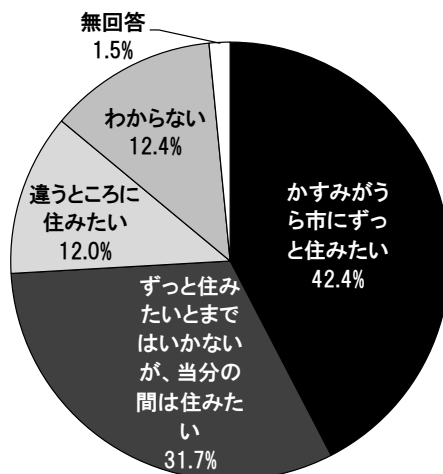
問2 かすみがうら市は住みやすいですか。



かすみがうら市の住みやすさについては、「どちらかといえば住みやすい」が最も多く、次いで「ふつう」、「住みやすい」となっており、住みやすさを感じているという回答が過半数となっています。

問3 定住意向

問3 将来もかすみがうら市に住み続けたいと思いますか。

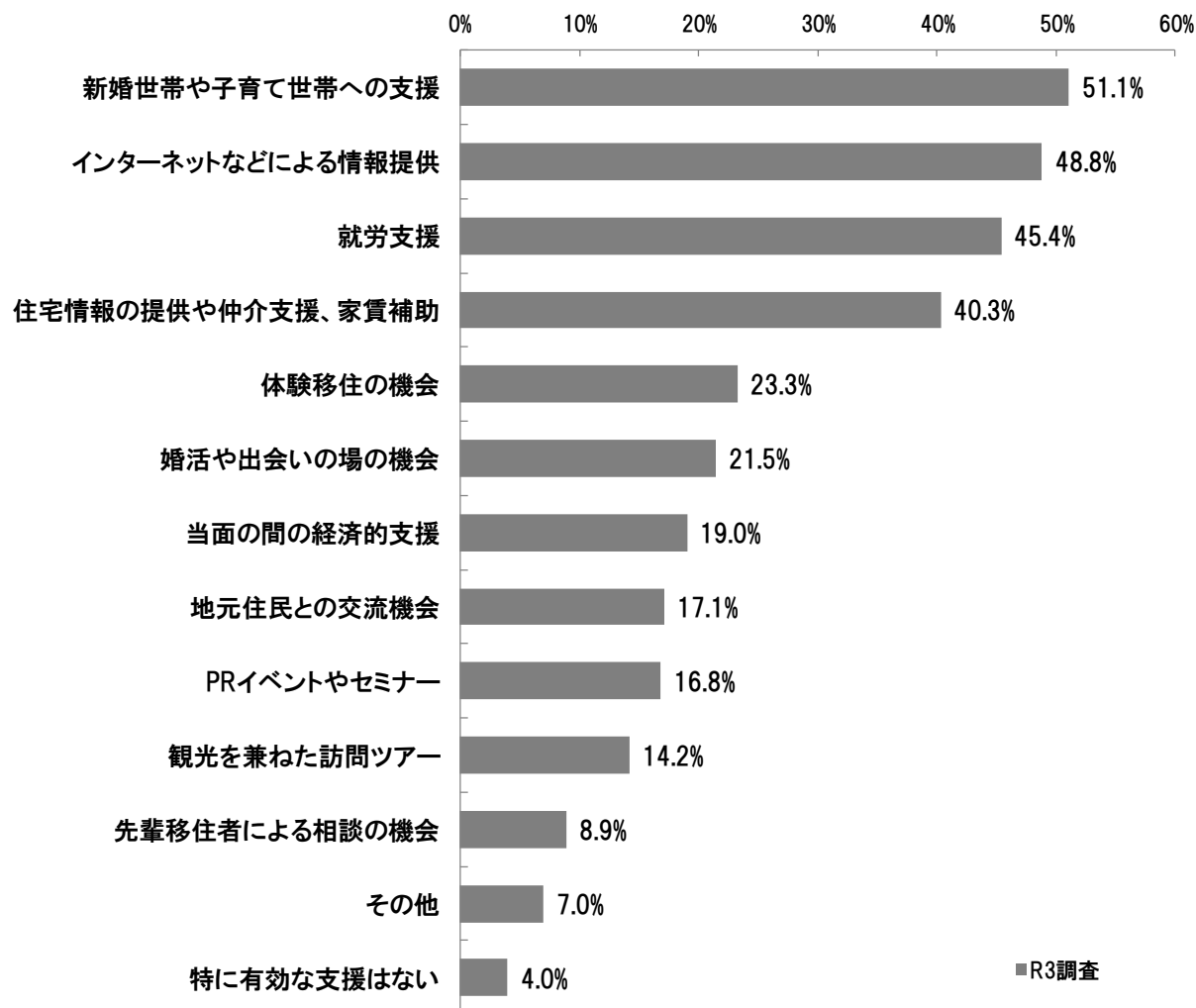


「かすみがうら市にずっと住みたい」が42.4%と最も多く、次いで「ずっと住みたいとまではいいないが、当分の間は住みたい」が31.7%となっています。この2つを合わせた、かすみがうら市への（当面の）定住意向は74.1%です。

一方、「違うところへ住みたい」は12.0%、「わからない」も12.4%みられます。

問4 有効と思う移住定住支援策

問4 市への移住定住支援策としてどのようなことが有効だと思いますか。

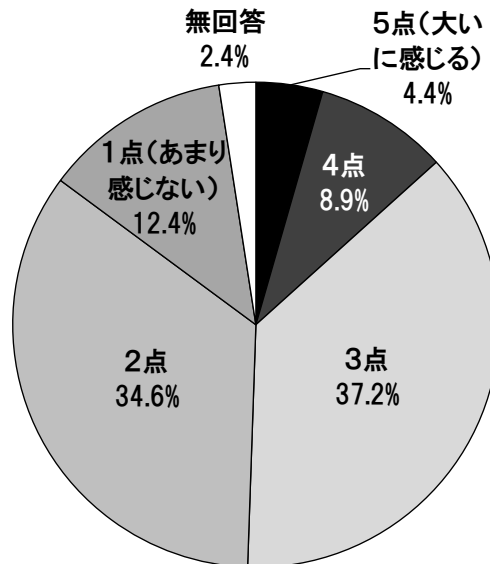


有効と思う移住定住支援策では、「新婚世帯や子育て世帯への支援」が 51.1%と最も多く、次いで「インターネットなどによる情報提供」(48.8%)、「就労支援」(45.4%)、「住宅情報の提供や仲介支援、家賃補助」(40.3%) などとなっています。

4 あなた自身の幸福感について

問5 現在の幸福感

問5 あなたは、どの程度「幸せ」だと感じていますか。

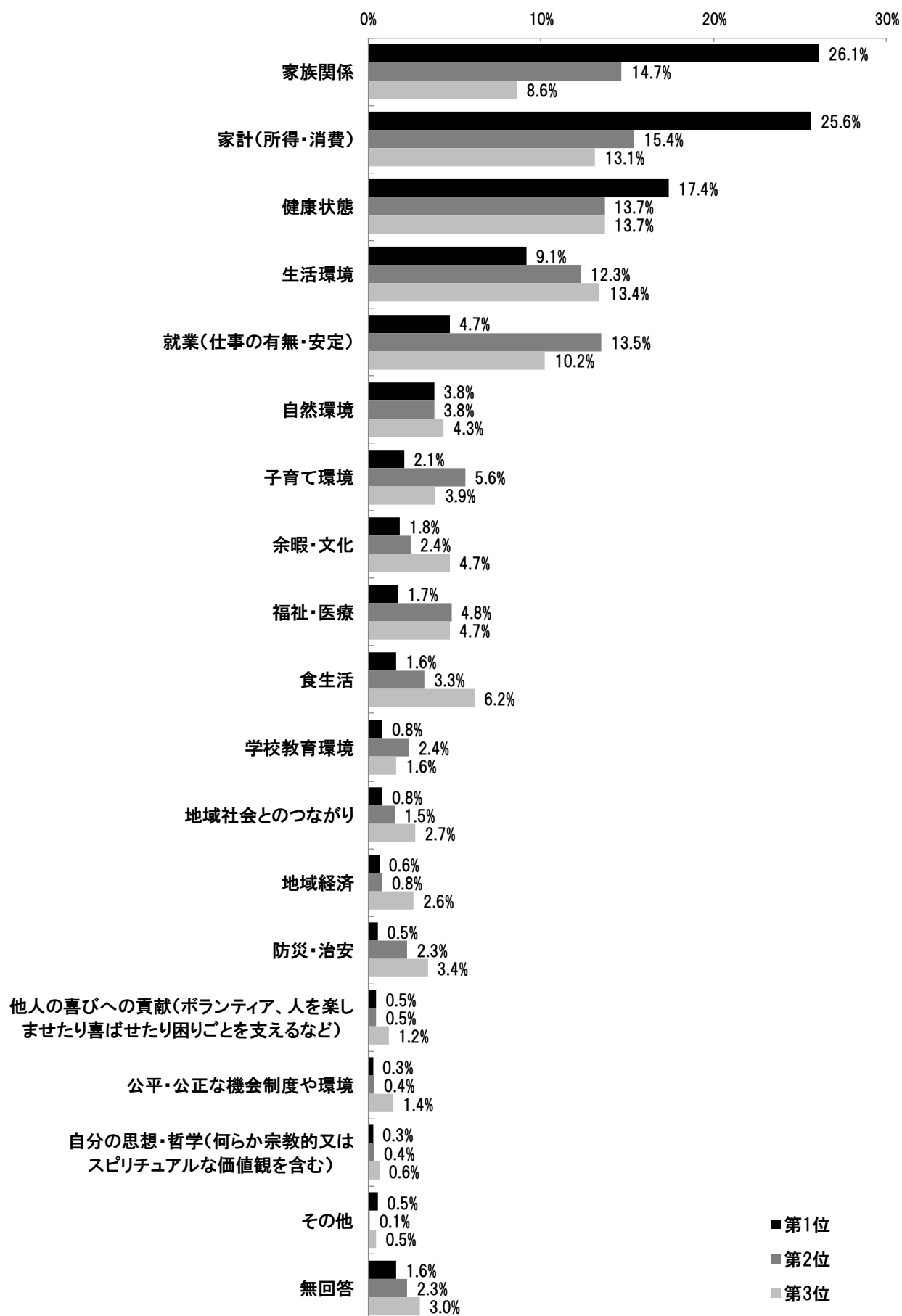


現在の幸福感について、「大いに感じる＝5点」から「あまり感じない＝1点」まで5段階の点数で評価してもらったところ、「3点(37.2%)」が最も多く、次いで「2点(34.6%)」、「1点(12.4%)」、「4点(8.9%)」と続き、最下位は「5点(4.4%)」となっています。点数に回答者数を掛けて平均を出すと2.51点となり、中央値の3点をやや下回る、つまり幸福ではないと感じている人が多いという結果になっています。

問6 幸福感で重視した項目

問6 幸福感を判断する上で、あなたが重視した事項は何ですか。

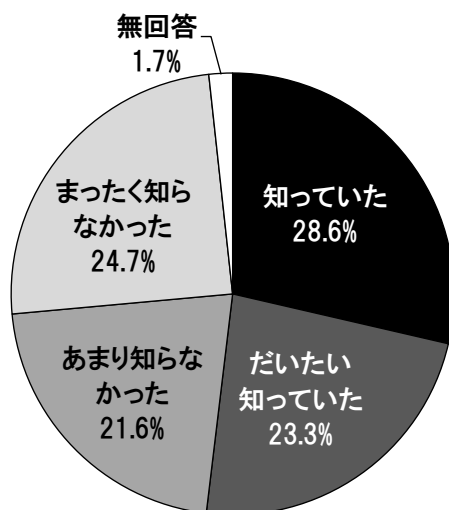
幸福感を判断する上で重視した項目を【第1位】から【第3位】まで順位をつけて伺ったところ、【第1位】には「家族関係」(26.1%)が挙がり、次いで「家計(所得・消費)」(25.6%)、「健康状態」(17.4%)となっています。さらに「生活環境」(9.1%)、「就業(仕事の有無・安定)」(4.7%)と続きます。【第2位】【第3位】の結果を勘案しても、おおむねこの順番通りの結果です。



5 市のまちづくりについて

問7 脱炭素社会の認知度

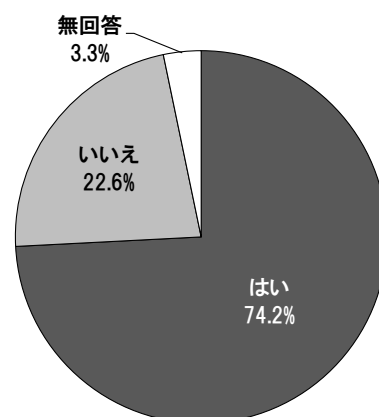
問7 2020年10月に政府が「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」と宣言したことについて、知っていましたか。



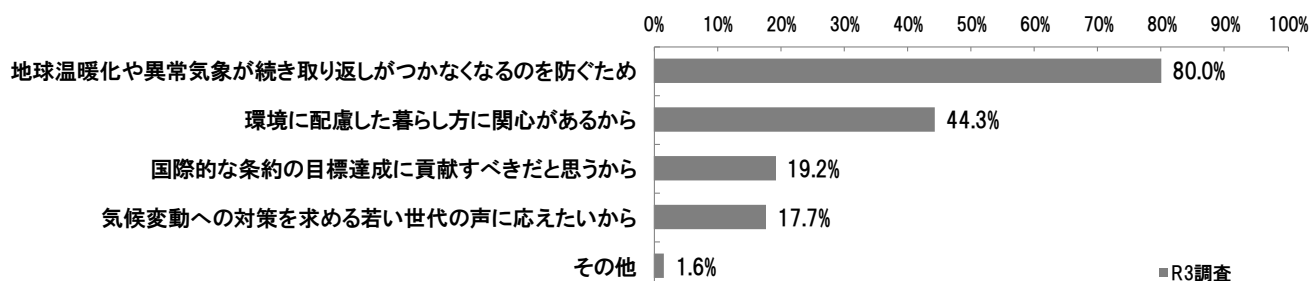
脱炭素社会の認知度では、「知っていた」(28.6%)が最も多く、次いで、「まったく知らなかった」(24.7%)、「だいたい知っていた」(23.3%)、「あまり知らなかった」(21.6%)となっています。「知っていた」と「だいたい知っていた」の合計は51.9%で、過半数の人がある程度の認知はしている一方、まったく知らないという人も4人中1人程度いるという状況です。

問 8 脱炭素社会の目標実現への貢献、その理由

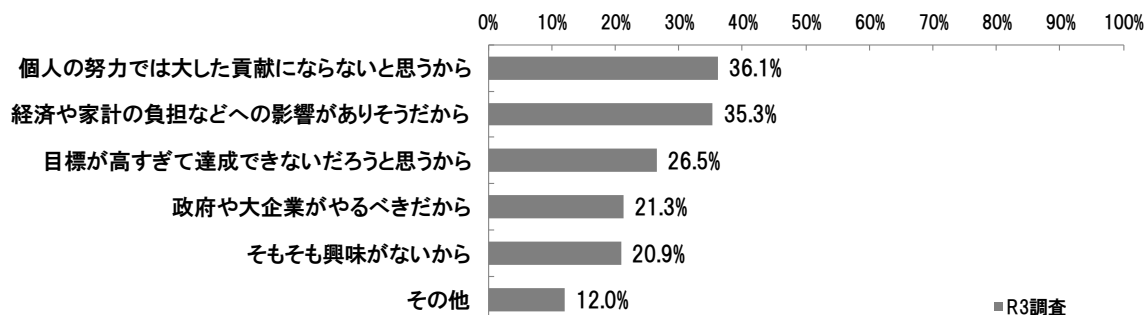
問 8 「2050 年カーボンニュートラル」の目標実現に向けて、あなたは貢献したいと思いますか。



〔「はい」を選んだ理由〕



〔「いいえ」を選んだ理由〕



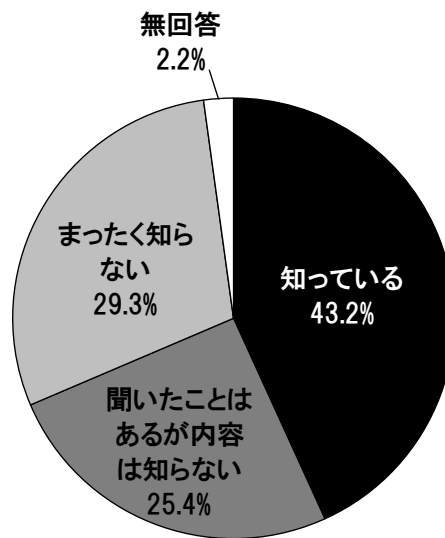
脱炭素社会の目標実現へ貢献したいかでは、「はい」が74.2%、「いいえ」が22.6%で、おおむね4人中の3人が貢献したいと答えています。

貢献したい理由としては、「地球温暖化や異常気象が続き取り返しがつかなくなるのを防ぐため」(80.0%)が最も多く、次いで「環境に配慮した暮らし方に関心があるから」(44.3%)、「国際的な条約の目標達成に貢献すべきだと思うから」(19.2%)、「気候変動への対策を求める若い世代の声に応えたいから」(17.7%)などとなっています。

貢献したいと思わない理由としては、「個人の努力では大した貢献にならないと思うから」(36.1%)が最も多く、次いで「経済や家計の負担などへの影響がありそうだから」(35.3%)、「目標が高すぎて達成できないだろうと思うから」(26.5%)、「政府や大企業がやるべきだから」(21.3%)、「そもそも興味がないから」(20.9%)などとなっています。

問9 SDG s の認知度

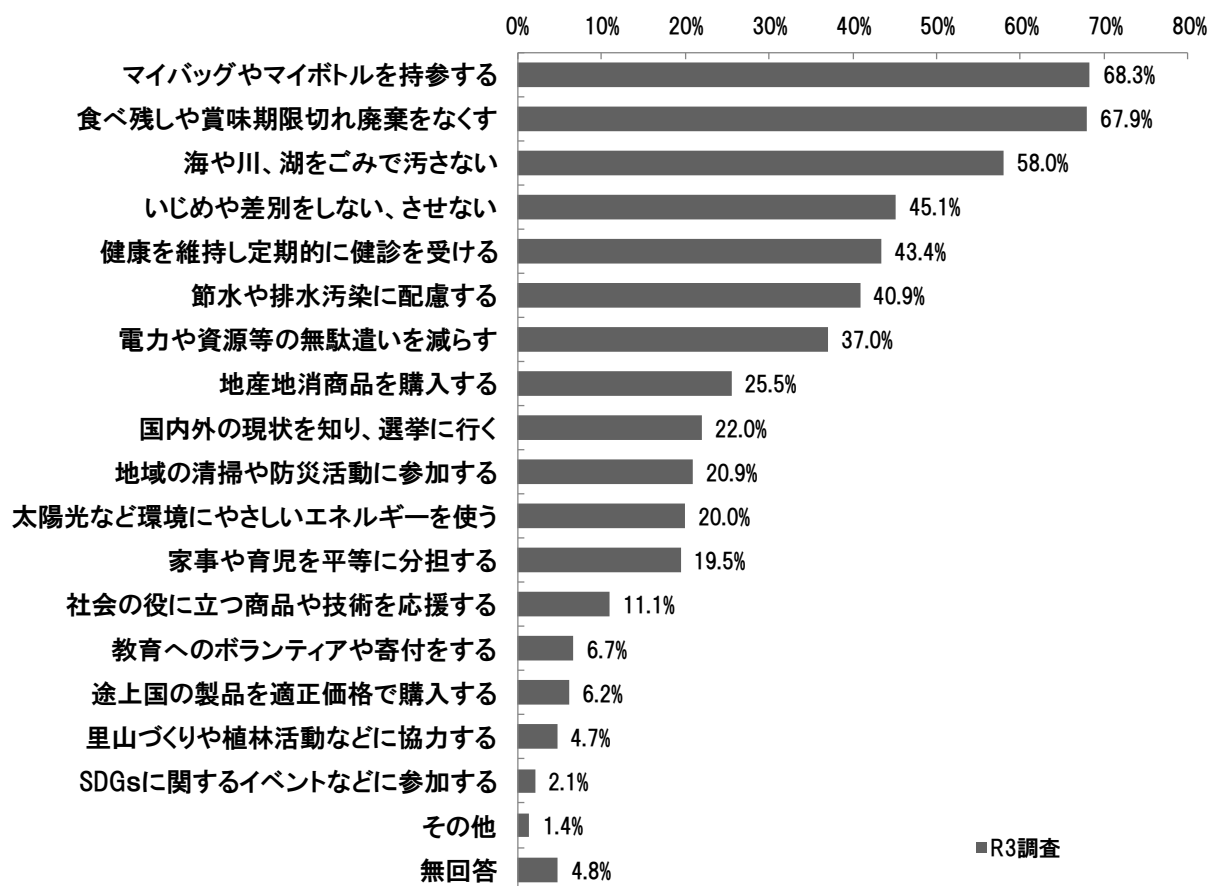
問9 あなたは、SDG s を知っていますか。



SDG s の認知度では、「知っている」(43.2%)と「聞いたことはあるが内容は知らない」(25.4%)の合計が68.6%で、7割近くの人に言葉としては浸透している状況です。ただし、残りの約3割は「まったく知らない」と答えています。

問 10 SDG s で実践していること

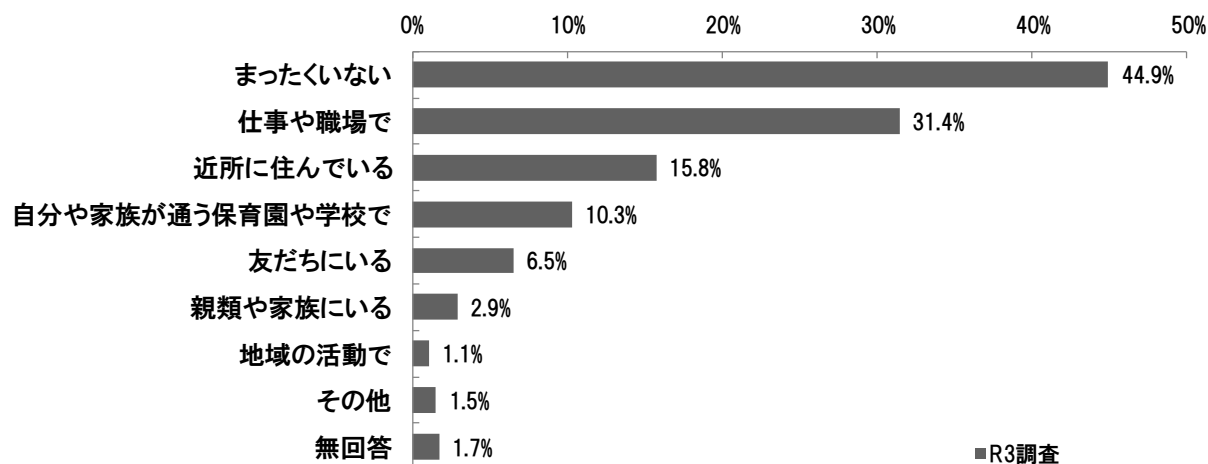
問 10 SDG s の達成に向けて個人でも取り組めることがあります。あなたが実践していることはありますか。



SDG s で実践していることでは、「マイバッグやマイボトルを持参する」が68.3%で最も多く、次いで「食べ残しや賞味期限切れ廃棄をなくす」(67.9%)、「海や川、湖をごみで汚さない」(58.0%)、「いじめや差別をしない、させない」(45.1%) などとなっています。

問 11 国際化・多文化共生の機会

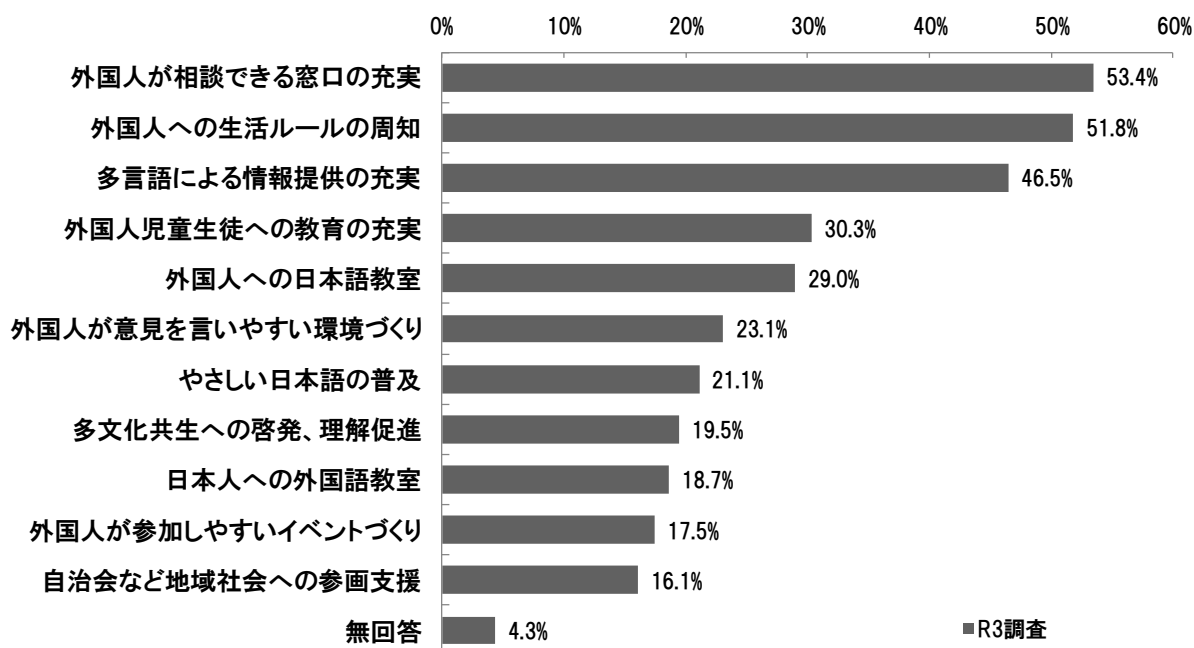
問 11 外国人の方と身近にかかわる機会がありますか。



外国人の方と身近にかかわる機会については、「まったくいない」が44.9%で最も多く、次いで「仕事や職場で」(31.4%)、「近所に住んでいる」(15.8%)、「自分や家族が通う保育園や学校で」(10.3%) などとなっています。

問 12 国際化・多文化共生への取組

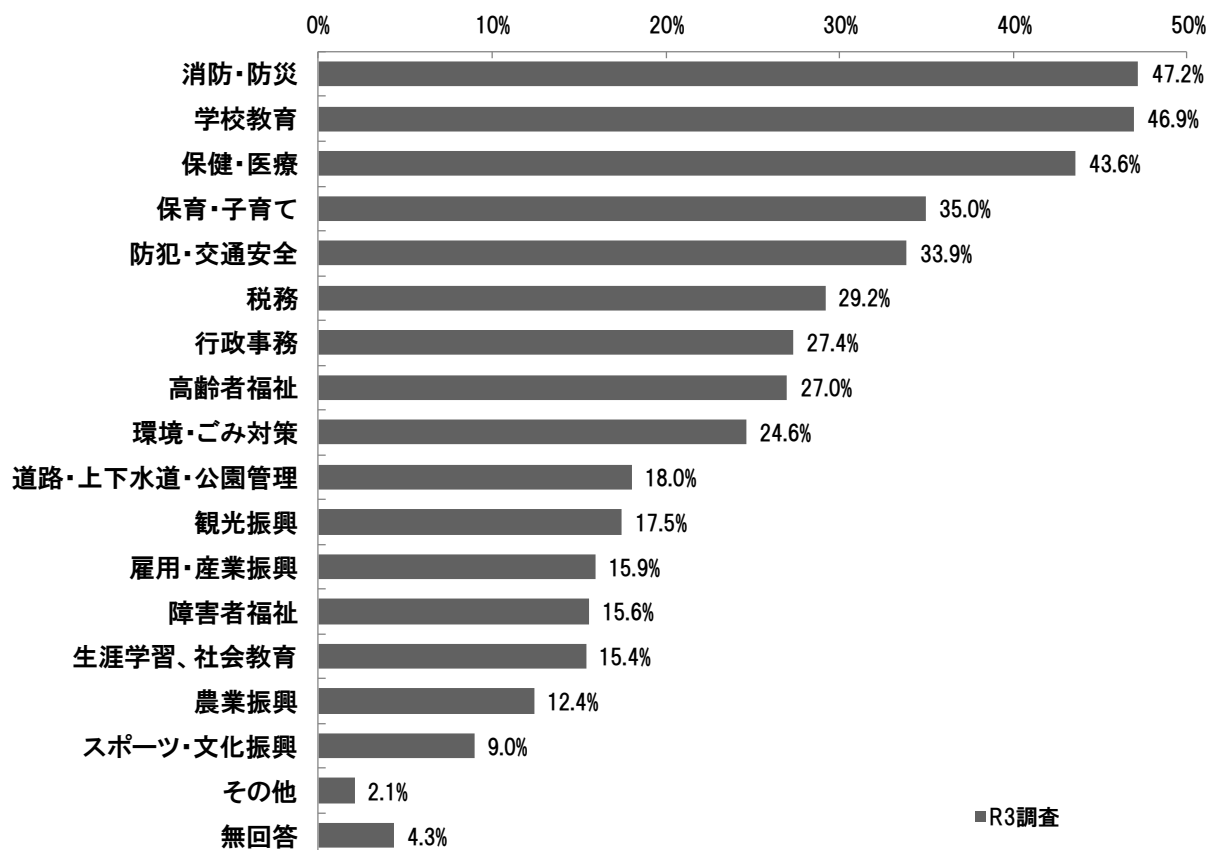
問 12 日本人と外国人が共に安心して暮らすために、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。



多文化共生に向けた取組としては、「外国人が相談できる窓口の充実」が53.4%で最も多く、次いで「外国人への生活ルールの周知」(51.8%)、「多言語による情報提供の充実」(46.5%)、「外国人児童生徒への教育の充実」(30.3%) などとなっています。

問 13 行政のデジタル化

問 13 市の ICT（情報通信技術）の利活用が進むことを期待する分野をお答えください。

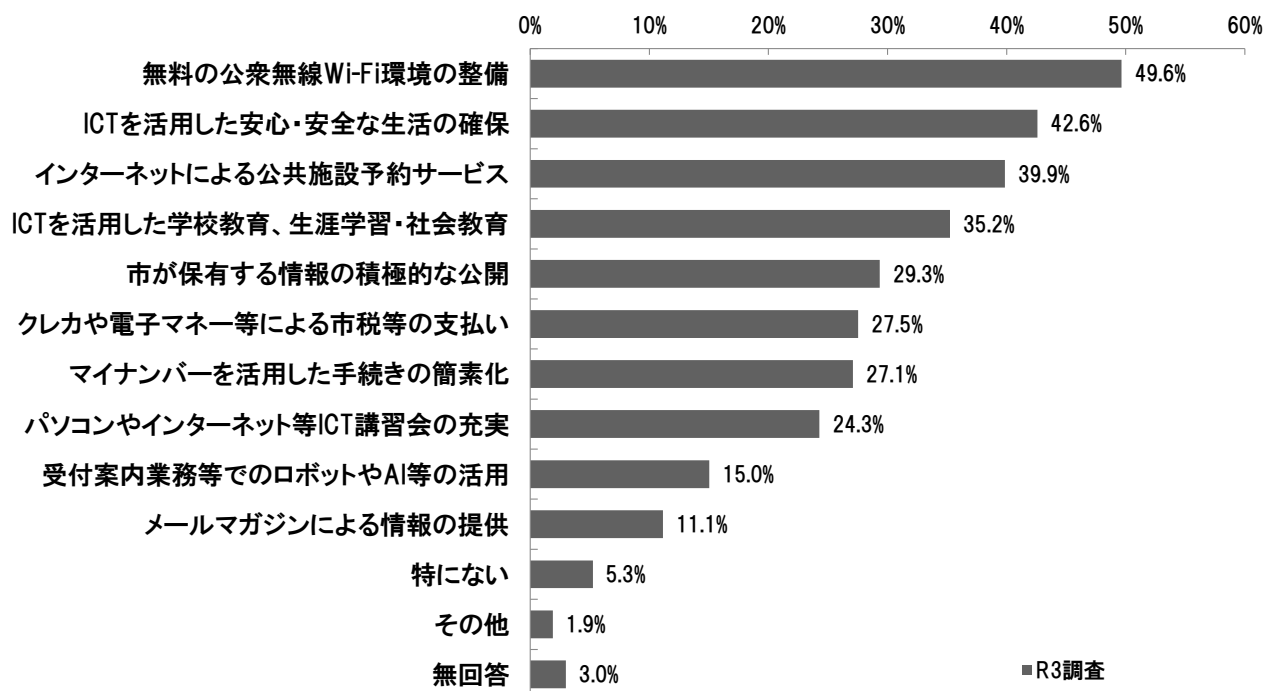


市の ICT（情報通信技術）の利活用が進むことを期待する分野は、「消防・防災」が 47.2% で最も多く、次いで「学校教育」（46.9%）、「保健・医療」（43.6%）、「保育・子育て」（35%）、「防犯・交通安全」（33.9%）などとなっています。

問 14 ICT で期待するサービス

問 14 今後、市が ICT（情報通信技術）を活用していくにあたり、特にどのようなサー

ビスの拡充や新規サービスに期待しますか。

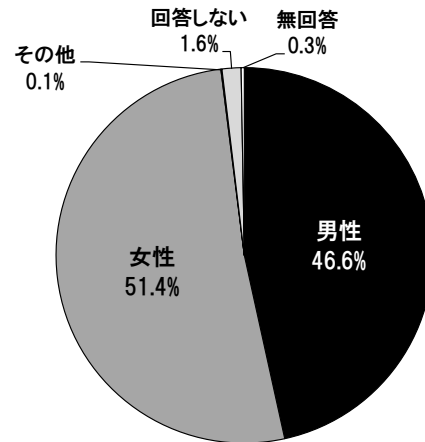


市の ICT (情報通信技術) 化で期待するサービスは、「無料の公衆無線 Wi-Fi 環境の整備」が 49.6% で最も多く、次いで「ICT を活用した安心・安全な生活の確保」(42.6%)、「インターネットによる公共施設予約サービス」(39.9%)、「ICT を活用した学校教育、生涯学習・社会教育」(35.2%) などとなっています。

6 あなたご自身のことについて

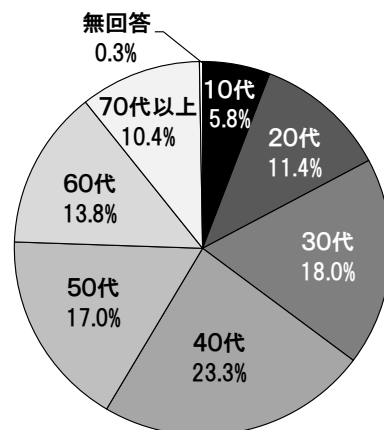
F1 あなたの性別は。

選択肢	回答数	割合
男性	514	46.6%
女性	568	51.4%
その他	1	0.1%
回答しない	18	1.6%
無回答	3	0.3%
計	1,104	100.0%



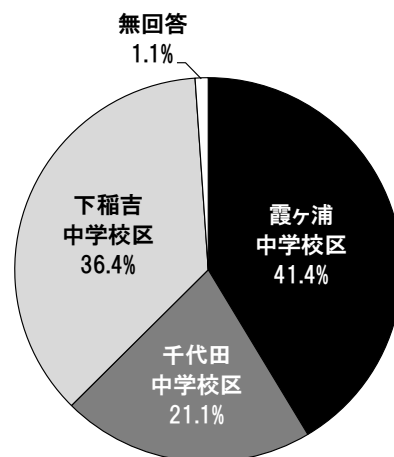
F2 あなたの年齢は。

選択肢	回答数	割合
10代	64	5.8%
20代	126	11.4%
30代	199	18.0%
40代	257	23.3%
50代	188	17.0%
60代	152	13.8%
70代以上	115	10.4%
無回答	3	0.3%
計	1,104	100.0%



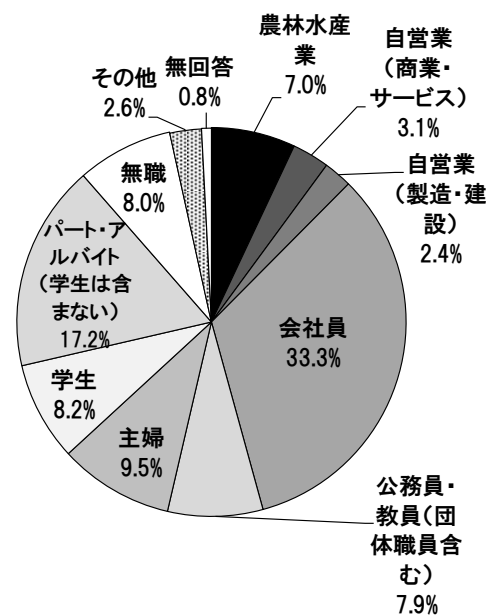
F3 お住まいの地区は。

選択肢	回答数	割合
霞ヶ浦中学校区	457	41.4%
千代田中学校区	233	21.1%
下稲吉中学校区	402	36.4%
無回答	12	1.1%
計	1,104	100.0%



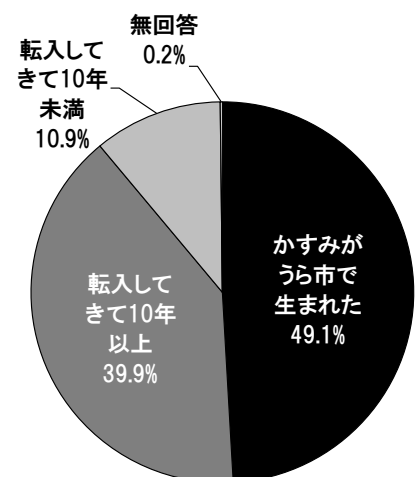
F4 あなたの職業は。

選択肢	回答数	割合
農林水産業	77	7.0%
自営業（商業・サービス）	34	3.1%
自営業（製造・建設）	26	2.4%
会社員	368	33.3%
公務員・教員（団体職員含む）	87	7.9%
主婦	105	9.5%
学生	91	8.2%
パート・アルバイト（学生は含まない）	190	17.2%
無職	88	8.0%
その他	29	2.6%
無回答	9	0.8%
計	1,104	100.0%



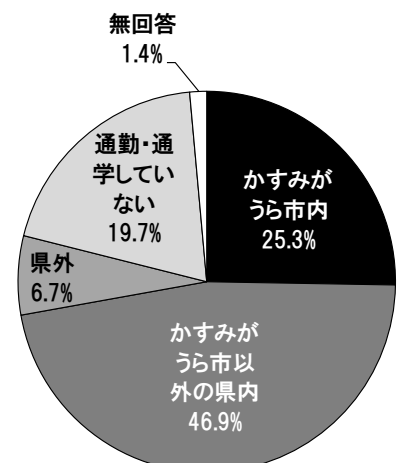
F5 いつからかすみがうら市に住んでいますか。

選択肢	回答数	割合
かすみがうら市で生まれた	542	49.1%
かすみがうら市に転入してきて10年以上である	440	39.9%
かすみがうら市に転入してきて10年未満である	120	10.9%
無回答	2	0.2%
計	1,104	100.0%



F6 通勤・通学先は。

選択肢	回答数	割合
かすみがうら市内	279	25.3%
かすみがうら市以外の県内	518	46.9%
県外	74	6.7%
通勤・通学していない	217	19.7%
無回答	16	1.4%
計	1,104	100.0%



7 自由記入

自由記入での年代別の特徴をみると、10代では居住環境についての記載がやや多く、図書館などの公共施設や商業施設への要望や駅前の利便施設を望む意見がみられます。

20代では居住環境でも特に自然や環境保全などへの意見や都市基盤への要望がやや多くなるほか、観光などによる市の魅力向上への意見もみられます。

30代では子育てや教育などへの意見が多くみられ、公園や子育てにかかる経済的支援、子育て世代への移住支援などの意見がみられます。

40代では学校や通学路、道路・歩道などの都市基盤整備への意見が多くなっています。

50代ではまちづくりや行政の取組に対する意見や要望が多くみられるほか、少子化対策や若い世代の意見反映などの意見も見られます。

60代では交通や道路等都市基盤への要望や農業などの産業支援のほか、市民に寄り添う市政への要望もみられます。

70代以上では道路や交通機関などの都市基盤への要望のほか、若い世代や子どもたちのくらしやすいまちづくりなどの意見もみられます。

①年代別（一部抜粋）

【10代】全21件	<該当分野>
バスが不便。車が無ければ生活できない所では定住したいと思えない。太陽光発電のために森林が伐採されすぎており、恐怖を感じる。乱開発だと思う。【10代/霞ヶ浦中学校区】	居住環境（自然環境・住環境・循環型社会）
イオンモールやドンキホーテ等、若者が行くような店をかすみがうら市にも作れば、少しは若者も他市、他県に行きたいとは思わないと思う。多くの人が家から徒歩や自転車で行ける距離に様々な店があると更に良い生活ができると思う。【10代/霞ヶ浦中学校区】	居住環境（自然環境・住環境・循環型社会）
地球温暖化を食い止めると言いつつ、森林伐採をし、ソーラーパネルを建てるのをやめてほしい。【10代/霞ヶ浦中学校区】	居住環境（自然環境・住環境・循環型社会）
老若男女に優しいまちづくりを心がけてほしいです。できるだけ多くの人の意見を反映できるようにしてほしい。猪が多くて大変です。【10代/千代田中学校区】	その他
旧志筑小をきれいに安全に遊べるようにしてほしい。使わなくなる小学校の利用方法等が知りたい。コンビニを増やしてほしい。【10代/千代田中学校区】	子育て・若者支援（子育て支援・青少年育成・起業・就業拡大）
自転車を利用している学生（小中学生）のマナーが非常に悪い。マナー講習会を開くなど、正しい指導を行ってほしい。【10代/下稻吉中学校区】	協働・行財政（市民活動・男女共同参画・産学官連携・広報）
公共交通機関の充実、道路の混雑解消、ICTを活用した学校教育（学生だけでなく、教師へのICT講習会も重要だと思います）、学生向けのLGBTQ+に関する教育の充実などに力を入れてほしいと思います。【10代/下稻吉中学校区】	居住環境（自然環境・住環境・循環型社会）
高校生に対する福祉（医療費、通学定期など）をもう少し充実させてほしいです。【10代/下稻吉中学校区】	子育て・若者支援（子育て支援・青少年育成・起業・就業拡大）
【20代】全41件	<該当分野>
かすみがうら市は好きですが、行政などの影響はあまり感じられないため、かすみがうら市独自の施策や限定的なものがあれば良いなど。地元企業を積極的に支援し、大きな雇用を生み、長期的に見て良い方向へどんどん税金を使い、唯一性のある市になるようにお願いします。【20代/霞ヶ浦中学校区】	協働・行財政（市民活動・男女共同参画・産学官連携・広報・行政サービス）
高齢者が多いまちだと思うので、高齢者が過ごしやすいまちづくりをお願いします。また、高齢化に伴い、若者の減少が目立ちます。オンラインが流行している近年ならではのWi-Fi環境の整備など、市外・県外に出て行かない工夫をお願いします。【20代/霞ヶ浦中学校区】	健康・福祉（健康づくり・高齢者障がい者福祉・地域福祉）

子育て支援サイトやホームページ等とても見やすいと思います。正直、かすみがうら市は観光資源に乏しいため、無理に観光を推し進めるより、住みやすさ重視で市街地整備に力を入れた方が良いのかもしれない。【20代/千代田中学校区】	協働・行財政（市民活動・男女共同参画・産学官連携・広報・行政サービス）
志筑小学校設立後、何年もしないうちに千代田中学校を小中一貫校になぜしたのか共有してほしい。志筑小学校または小中一貫校に含まれる小学校は、今後どうなるのか、何に再利用されるのか知りたい。【20代/千代田中学校区】	その他
下稲吉中地区に幼稚園児や低学年が遊べる公園をもっと作ってほしい。つくば市、土浦市に比べると少ない。公園の質が悪い。家を建てたいけれど、下稲吉地区（稲吉南）の土地がなかなか無い。土地が高い。【20代/下稲吉中学校区】	子育て・若者支援（子育て支援・青少年育成・起業・就業拡大）
かすみキッチンができたことで、休日にその周辺で過ごすことが増えました。かすみがうら市は農作物も豊富なため、それらを生かした食べ物を買うことができる場所が増えれば自然と市民はその周辺や市内で行動することが増えると思います。ワクチン接種など、スピード感のある市政を期待しています。かすみがうら市の自然を生かして、キャンプやバーベキュー、グランピングなどができる施設があると若者も利用すると考えます。【20代/下稲吉中学校区】	産業（農林水産業・商工業・観光）
【30代】全73件	<該当分野>
市内全体の路線バスを増やしたら良いと思っています。市外から来て3年ですが、車が無いと生活が不便に感じます。子どもが遊べる公園が近所にあっても老朽化していて、安心して遊ばせることができなくて困っています。子ども手当は、主婦であっても母親に振り込まれるようにしていただければなどずっと思っていました。【30代/霞ヶ浦中学校区】	居住環境（自然環境・住環境・循環型社会）
神立駅東口側を有効活用した市街地形成を進めた方が良いと思います。【30代/霞ヶ浦中学校区】	都市基盤（土地利用・都市基盤施設・安全安心）
空き家対策、若い人たちが気軽に移住できるようなプラットフォームが必要。大量に作られているソーラーパネルファームが寿命を迎えた際に、手つかずのまま放置されるのではと心配しています。田畑、森がこれ以上減らないように。開発よりも自然主体のまちへ。【30代/霞ヶ浦中学校区】	居住環境（自然環境・住環境・循環型社会）
子どもが遊べる公園が市内に少ないので、整備してほしいです。（特に千代田中地区）【30代/千代田中学校区】	居住環境（自然環境・住環境・循環型社会）
インターネット・PCの普及は大切なことだが、親世代がついていけず、トラブル等に気づけなかったりする。親世代へのインターネット、PC、オンラインなど教えていただく機会がほしい。この世代、PC類の得意・不得意が大きく分かれているように感じる。【30代/千代田中学校区】	教育・文化（学校教育・生涯学習・地域文化）
子どもたちのために歩道の整備をしてください。子どもたちが遊べる公園の整備をしてください。千代田義務教育学校に通う予定の親同士の交流する場がほしい（来年、4月に初めましてだと若干怖いです）。【30代/千代田中学校区】	居住環境（自然環境・住環境・循環型社会）
小さい子どもが歩いていたりとすると、歩道が狭くて危ない時がある。もう少し歩行者や自転車と車が別になるようにしてもらいたい。【30代/下稲吉中学校区】	都市基盤（土地利用・都市基盤施設・安全安心）
コロナ禍ということもあり、以前に比べて健診や地域の教室等のふれあいの場などが減ってきている。特に子どもの健診→母などが鬱にならないか、高齢であれば→人と会わないことで孤独にならないか心配である。【30代/下稲吉中学校区】	協働・行財政（市民活動・男女共同参画・産学官連携・広報・行政サービス）
【40代】全92件	<該当分野>
高齢などを理由に集落を脱退したり、また加入しない方が地域に増えている。ごみの集積所を集落に加入していない方も利用するところ、集落に加入していない方がごみの出し方などを適切に行わないこともあり、注意がしづらいこともある。集落加入しないことのデメリットが大きく、全加入者がメリットを感じられる取組が必要ではないかと思う。【40代/霞ヶ浦中学校区】	協働・行財政（市民活動・男女共同参画・産学官連携・広報・行政サービス）
出島地区～神立へつなぐバスの運行を活発にしてほしい。学生の子供を神立駅まで送迎するのが大変です。バスという点では、歩崎公園は観光客も含めて利用が期待される。神立～歩崎公園のバスを出しても良いのでは？広いスペースがあるので、駐輪場を作れば、そこからバスに乗れる学生も増える。せっかく良い公園があるので、40%ぐらいしか良い利用ができていない。良い施設を上手く利用することが、下手だと思う。もっと考えて！【40代/霞ヶ浦中学校区】	都市基盤（土地利用・都市基盤施設・安全安心）
千代田中地区はバスがとても少ないので、もっと本数が増えると助かります。猪も出ることがあるので、どうかしてほしいです。【40代/千代田中学校区】	居住環境（自然環境・住環境・循環型社会）

かすみがうら市の農林水産業に携わる方たちへの支援を充実させてほしいです。若い人がこの市に魅力を感じて住みたいと思うような活気のある施策を考えていただきたいです。周辺の市に比べて、外に向けたPRが少ないように思います。これからずっと住み続けてゆく市ですので、活気のあるまちになってほしいです。【40代/千代田中学校区】	協働・行財政（市民活動・男女共同参画・産学官連携・広報・行政サービス）
自転車による振興を行っている割に、市内から霞ヶ浦、雪入山、筑波山へのアクセスが良くない。また、市道、県道は整備が行き届いている状態ではなく、路肩に砂利がたまって非常に走行しにくい。【40代/下稲吉中学校区】	都市基盤（土地利用・都市基盤施設・安全安心）
【50代】 60件	<該当分野>
少子化対策をもっと重要視してほしい。孫たちが安心・安全に遊べる公園があまりにもないこと。遊具の数が少なくても公園を何か所か作ってほしい。【50代/霞ヶ浦中学校区】	都市基盤（土地利用・都市基盤施設・安全安心）
今は不便を感じていないが、子どもが高校生の時は、神立駅までの送迎が大変だった。バスもメイン通りだけでなく、他の通りにも回してほしいと感じた。また、高齢者の通院にも、バスを回してほしい。免許が無い高齢者は、通院も大変である。乗合タクシーの手続きも簡単にしてほしい。【50代/霞ヶ浦中学校区】	都市基盤（土地利用・都市基盤施設・安全安心）
まちづくり全般で世代交代、若返りを図る必要がある。もっと若い人たちの意見を聴く必要があると思います。また、市出身者で現在は市以外・県外にいる方の意見等も聴けると良いと思います。【50代/霞ヶ浦中学校区】	その他
来年から廃校になってしまう志筑小学校の有効活用をお願いしたいです。例えば市役所の手続きができる場所、ゴミ袋の販売、子どもたちのスポーツの場としての利用、地域の人たちの集いの場などにしていただけたら助かります。私の子どもは障がいを持っています。福祉サービスを利用していますが、計画相談員の数少なく、更新の度に苦労して探しています。相談員を増やしてほしいです。（かすみがうら市内にある事業所には居ますが、社協にも相談員さんがいると良いと考えます。【50代/千代田中学校区】	健康・福祉（健康づくり・高齢者障がい者福祉・地域福祉）
茨城県の中でかすみがうら市だからできることに特化してまちづくりを進めてほしい。【50代/下稲吉中学校区】	産業（農林水産業・商工業・観光）
神立駅と国道6号をつなぐ新しい道路に照明が無く暗いので、照明を設置してほしい。また、歩道を自転車が多く通行しているので、標識などを整備してほしい。【50代/下稲吉中学校区】	都市基盤（土地利用・都市基盤施設・安全安心）
市内に引っ越してきて3年になります。一番感じていることは、様々な面で市民を大切に考えてくれている「やさしい町」ということです。いつもありがとうございます。かすみがうら市に転入してきて良かったです。【50代/下稲吉中学校区】	協働・行財政（市民活動・男女共同参画・産学官連携・広報・行政サービス）
市の公共施設の利用料金を安くしてもらいたい（特にウェルネスが高い）。自然を強みとしてアスレチックやキャンプ施設等、都心から人が集まる場所をつくるのはどうでしょうか？都内から車でアクセス便利なら集客できそう。【50代/下稲吉中学校区】	健康・福祉（健康づくり・高齢者障がい者福祉・地域福祉）
【60代】 全36件	<該当分野>
森林の不管理、田畑の耕作放棄に対する環境整備を、市（行政）において積極的に指導・活用していただきたい。【60代/霞ヶ浦中学校区】	居住環境（自然環境・住環境・循環型社会）
神立駅周辺に6次化団地の整備を行うべき。農業、農産物加工、製造、販売及び首都圏への販売を行い、整備を行う（霞ヶ浦からの水産物を含む）。霞ヶ浦の浄化を行い、水産資源の活用を行う。【60代/霞ヶ浦中学校区】	産業（農林水産業・商工業・観光）
若い人たちが定住できるようなまちづくりをしてほしい。そのために優遇税とかを作る。【60代/霞ヶ浦中学校区】	協働・行財政（市民活動・男女共同参画・産学官連携・広報・行政サービス）
住みやすいまちになってきている。これからも安心して暮らせるまちづくりに期待しています。【60代/千代田中学校区】	その他
あれも、これもと良い所を集めるのではなく、他の自治体でまねのできない活動、イベントを通し、かすみがうらが1つになって行えるものをお願いしたい。【60代/千代田中学校区】	産業（農林水産業・商工業・観光）
高齢化社会への対策が必要と分かっているが、今後間違いなく増加する免許返納者が、昼間人口が無い少子社会でどのように生活上必要な目的達成のための移動を支援してゆくかを早く考えてほしい。（土浦市のきららバスは有効。重要拠点を1日中巡回している。既存の公共交通機関を接続しながら。）【60代/千代田中学校区】	健康・福祉（健康づくり・高齢者障がい者福祉・地域福祉）
若い方が市に就職できる場を積極的に作ってほしい。【60代/下稲吉中学校区】	産業（農林水産業・商工業・観光）
【70代以上】 全31件	<該当分野>

かすみがうらも歴史があるのでもっとPRをしてもらいたい。市の文化財、昔の生活、教育委員会でもっと力を入れて保全して貰いたい所、多くあり。隠れている場所多し。【70代以上/霞ヶ浦中学校区】	産業（農林水産業・商工業・観光）
霞ヶ浦地区の、幹線道路からは外れたところに住んでいます。基本的に、生活環境の改善は道路の整備だと思います。地域の住人からの申請・要望が上がってから検討するのではなく、行政側から率先して順次、改修なり、拡幅なりしていただくと、ありがたいと思います。住みにくさを言う人々のほとんどが曲がりくねった狭い生活道路の近くに住む方たちなのです。【70代以上/霞ヶ浦中学校区】	都市基盤（土地利用・都市基盤施設・安全安心）
周辺は高齢者ばかり。静かに余生を送れる環境にしてほしい。無理に都会のマネをしないでほしい。【70代以上/千代田中学校区】	健康・福祉（健康づくり・高齢者障がい者福祉・地域福祉）
稲吉東小学校近辺に公園を作っていただきたいです。【70代以上/下稲吉中学校区】	都市基盤（土地利用・都市基盤施設・安全安心）
空き家対策が大切です。ヘビ、イノシシ、アライグマ、ハクビシンが出没したり、高い木の枝が隣家に覆い被さり、住環境が損なわれています。【70代以上/下稲吉中学校区】	居住環境（自然環境・住環境・循環型社会）